SHARP

シアタープロジェクター

形名 DT-100J（ディーティージェイ）

取扱説明書

PICTURE BY DLP™ A TEXAS INSTRUMENTS TECHNOLOGY

このたびはシャープシアタープロジェクターをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。ご使用の前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。・・・・・**6**ページ

- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

もくじ

まず

はじめに

ページ

もくじ 2
この取扱説明書の見かた 4
付属品について 5
安全に正しくお使いいただくために ... 6
使用上のご注意 11
各部のなまえとはたらき 13
- 乾電池の入れかた 16
- リモコンの使用範囲 17

基本的な使いかた

基本的な使いかた 18

設置する

本機を設置する 20
- 本機の設置のしかた 20
- 基本的な設置（前面からの投映） 20
- 天井取り付けによる投映 20
- 投映方式 21
- 画面サイズと投映距離 22

接続する

接続する機器と使用する
ケーブル例 24
ビデオ機器を接続する 25
コンピュータを接続する 27
RGB 入力端子付きモニターを
接続する 28
アンプやその他のオーディオ機器
と接続する 29

さあ

使ってみる

電源の入れかた/切りかた 30
投映のしかた 32
- 入力を切り換える 32
- 投映画像を調整する 32
- 本体の音量を調整する 34
- 投映した映像と音声を一時的に消す .. 34
- 画面の台形歪みを補正する
（キーストーン補正） 35
- 入力信号に合わせた
画面サイズを選ぶ 36

便利な機能

ページ　　ページ

リモコンで投映画像を操作する..... 38
- 投映中の画像を静止画にする 38
- 投映する画像に合わせた映像モードを選ぶ 38
- コンピュータから入力された画面を自動同期調整する（自動同期調整機能） 38

メニュー内容一覧 39
メニュー操作のしかた 41
- メニュー画面で調整する 41

投映した映像を調整・設定する（映像調整メニュー） 43
- 映像モードを選ぶ 43
- お好みの映像に調整する 44
- 色味を変える（色温度設定) 44
- プログレッシブモードを選択する 44
- ランプ設定を選択する 44

表示のしかたを設定する（表示設定メニュー） 45
- 画面サイズを設定する 45
- 画面の台形歪みを補正する 45
- 画面に表示されている情報を表示しないように設定する（画面表示） 45
- 無信号時やオープニング時に投映する画面を設定する（バックグラウンド設定） 45
- 投映環境に合わせた投映方式を選択する 45
- 画面に表示する言語を選択する（言語選択） 45

本体機能を設定する（本体設定メニュー） 46
- 自動入力サーチ機能を設定する 46
- コンピュータの画面を自動調整する（自動同期調整機能） 46
- 無信号状態が続いたときに電源を自動的に待機状態にする（無信号電源オフ機能） 47
- 確認音を設定する 47
- 内蔵スピーカーの入／切を設定する（スピーカー設定） 47
- ファンモードを設定する 47
- ランプ使用時間を確認する（ランプ時間（残率）） 47

操作に困ったときは（ヘルプメニュー） 48
- 「ヘルプ」機能を使う 48

こんなときは・・・

付録

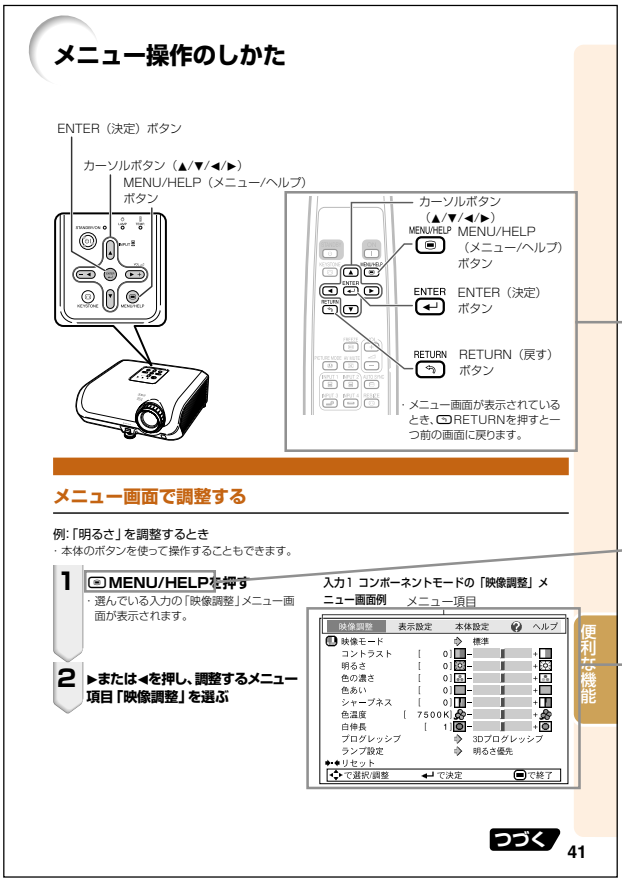
お手入れのしかた 49
お知らせ表示について 50
ランプを交換する 52
- ランプについて 52
- ランプ交換のしかた 53
- ランプ使用時間をリセットする 54

本体のコネクターのピン配置 55
RGB入力信号（推奨信号）について 56
故障かな？と思ったら 57
お客様ご相談窓口のご案内 59
アフターサービスについて 61
仕様 62
寸法図 63
索引 66

この取扱説明書の見かた

■機種により仕様が一部異なりますが、接続や操作のしかたは同じです。

※画面表示やイラストは、説明のために簡略化してありますので、実際とは多少異なる場合があります。



お知らせ

・特に気をつけていただきたい内容について説明しています。

メモ

・操作や設定時の制限事項や注意する内容について説明しています。

こんなときは

お手入れをするときは 49ページ

故障かな？と思ったら 57ページ

索引 66ページ

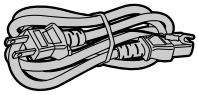
付属品について

付属品

リモコン

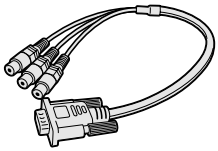
単３形乾電池
（２本）

電源コード（1.8 m）



この電源コードは
本機専用品です

3RCA（コンポーネント）／
15ピンミニD-sub変換アダプター
（30cm）



レンズキャップ
（装着出荷）

・取扱説明書（本書）
・保証書（箱に貼り付け）

別売品のご案内

■ランプユニット	AN-100LP または AN-XR10LP

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意 人がケガをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

記号は、気をつける必要があることを表しています。

記号は、してはいけないことを表しています。

記号は、しなければならないことを表しています。

⚠警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のときは電源プラグを抜く

● 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

● 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない

● この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

● サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあります。
万一、さわると危険です。

● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

表示された電源電圧で使用する

● 表示された電源電圧（交流100～240ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

プロジェクターを落としたときは

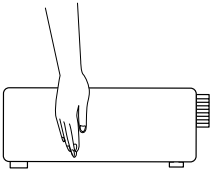
● この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

レンズをのぞかない

● 投映中にレンズをのぞかないでください。
眼を傷める原因となります。
特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

高温部には触れない

● 投映中は、排気孔、ランプユニットカバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。



不安定な場所に置かない

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

天井へ取り付けるときは

● この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。
取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

内部にものや水などを入れない

● この機器の開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 異物や水がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない

● こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

● 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

● 感電の原因となります。

つづく

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

⚠警告

電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着した状態では使用しない

ほこりを取る

● ホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災･感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

● 火災･感電の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない

禁止

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災･感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。

禁止

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災･感電の原因となります。

交換を依頼する

● 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災･感電の原因となります。

⚠注意

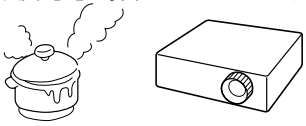
油煙、湯気、湿気、ホコリなどが多い場所に置かない

禁止

● 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災･感電の原因となることがあります。

禁止

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災･感電の原因となることがあります。



通風孔をふさがない

禁止

● この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから30cm以上はなして設置してください。

禁止

● 次のような使い方はしないでください。
この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。

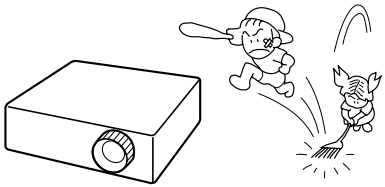
重いものを置かない

禁止

● この機器の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。

禁止

● この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。



置台に据えつけるときは

転倒防止

● キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

⚠注意

設置場所を変える場合は必ず接続線をはずす

●設置場所を変える場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

●コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

●安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く

●安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

●差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

●電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する

●内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。

つづく

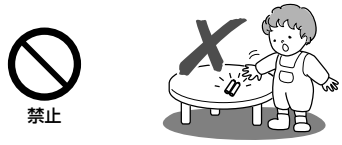
安全に正しくお使いいただくために(つづき)

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

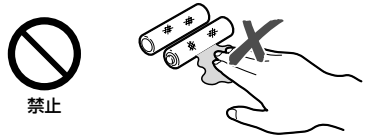
⚠注意

電池は幼児の手の届く所に置かない



●電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池の液が漏れたときは素手でさわらない

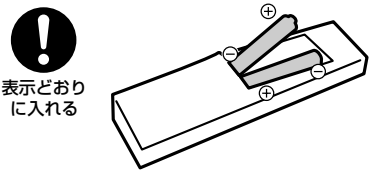


●電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
●皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない 乾電池は充電しない

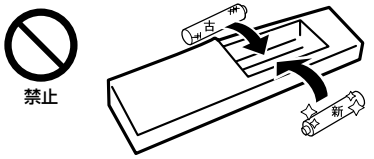
●電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる



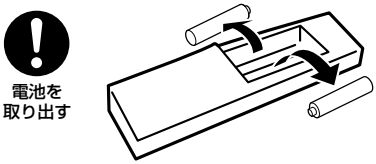
●間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない 新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない



●電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す



●電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ故障、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

設置するときは次の点にご注意ください

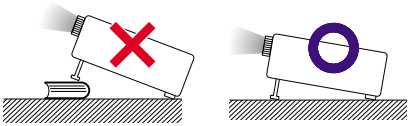
ホコリ、湿気の少ないところへ

■湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー・ランプ等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。また、故障の原因となる場合があります。

直射日光や、照明の光はさけてください

■スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

本機を設置するときは



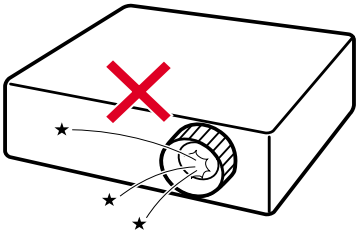
■本機を設置するときは、水平な場所に設置しアジャスターの調整範囲内（約8度）でご使用ください。

■プロジェクターをお買い上げ後、最初に電源を入れたとき、排気孔からわずかに匂いがする場合がありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともない、なくなります。

山岳など高地（ 標高約1500m）以上でご使用になるとき

■空気の希薄な高地などでご使用になるときは、ファンモードを「高」に設定してください。「標準」のまま使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

衝撃を与えないでください



■レンズには、特にご注意いただき表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。

高温、低温の場所はさけてください

■使用温度範囲　5℃～35℃

■保存温度範囲　－20℃～＋60℃

排気孔や吸気孔をふさがないように

■排気孔側に壁やモノがある場合は、30cm以上スキ間をあけて設置してください。

■排気孔や吸気孔をふさがないよう設置してください。

■冷却ファンがふさがれると、内部温度上昇のため保護回路が働き自動的に待機状態になる場合があります。（**50**～**51**ページ）このようなときはプロジェクターの電源コードをコンセントから抜き、10分以上そのままにしてください。その後排気孔や吸気孔をふさがない場所に設置してもう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。

■電源を切ったとき、本体の冷却のため、しばらくは冷却ファンが動作します。電源コードをコンセントから抜くときは、必ず冷却ファンが停止してから抜いてください。設置状態や本体内部の温度により、冷却ファンが停止する時間は異なります。

取り扱い時のご注意

■取り扱うときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上行ってください。

■取り扱うときは、レンズ部を持たないでください。

■使用しないときや、収納するときは、レンズキャップを取り付けてください。（**13**ページ）

■直射日光の当たる場所や、熱器具などの近くに放置しないでください。キャビネットの変形・変色の原因になります。

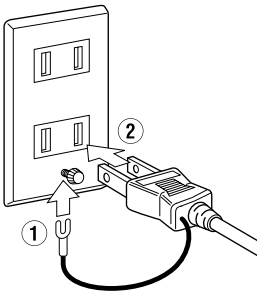
つづく

使用上のご注意(つづき)

電源コードの接続について

■電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。

■アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。



接続機器について

■プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。

使用時のご注意

目をときどき休めてください

■連続して長い時間画面を見ていると目が疲れますので、ときどき目を休めてください。

ランプ交換に関しての注意

■「ランプについて」（**52**ページ）もご覧ください。

■廃棄の方法について

このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ（HIDランプ）は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

ランプ交換ユニットに関しての注意

■ランプが破裂するとガラス破片でけがをするおそれがあります。ランプが破裂した場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

海外でご使用になるときは

■お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、その国に合った電源コード（別売品）をご使用ください。

·本製品のICチップの中には、米国テキサスインスツルメンツ社の営業秘密が含まれているICチップがありますので、その内容をコピー、改変、適応、翻訳、配布、リバースエンジニアリング、リバースアセンブリングもしくはディスアセンブリングをすることは禁じられています。

·DLP™ (Digital Light Processing) 、DMD™ (Digital Micromirror Device)は米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。

·Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。

·PC/ATは米国IBM社の登録商標です。

·Macintoshはアップルコンピュータ·インクの米国および、その他の国における登録商標です。

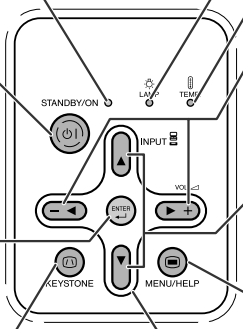
·その他の製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

各部のなまえとはたらき

■の中の数字は参照ページを示します。

本体

天面操作部



電源表示 ■30, 50

STANDBY/ON (スタンバイ/電源入)ボタン ■30
電源を入れたり、待機状態にします。

ENTER(決定)ボタン ■41
メニューで選択/調整した項目を決定します。

KEYSTONE(キーストーン補正)ボタン ■35
投映角度により生じる台形歪みを補正する画面にします。

■30, 50 **ランプ表示**

■50 **温度モニター表示**

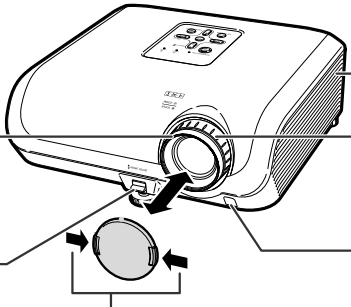
■34 **VOLUME(音量)ボタン (− ◀/▶ +)**
スピーカーからの音量を調整します。

■32 **INPUT(入力切換)ボタン (▲/▼)**
入力モード(入力1、2、3、4)を切り換えます。

■41, 48 **MENU/HELP (メニュー/ヘルプ)ボタン**
各種設定・調整用の画面やヘルプを表示します。

■41 **カーソルボタン (▲/▼/◀/▶)**
メニュー設定に使用します。

前面



フォーカスリング ■32
投映画像のピントを合わせます。

高さ調整レバー ■33

■49 **吸気孔**

■32 **ズームリング**
投映画像を拡大／縮小します。

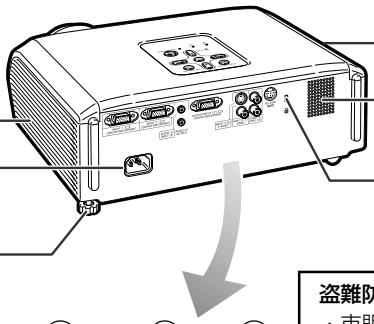
■17 **リモコン受信部**

押しながら取り付け・取り外しをします。

各部のなまえとはたらき(つづき)

■の中の数字は参照ページを示します。

本体背面



吸気孔 49

AC電源ソケット 30
付属の電源コードを接続します。

後部アジャスター 33

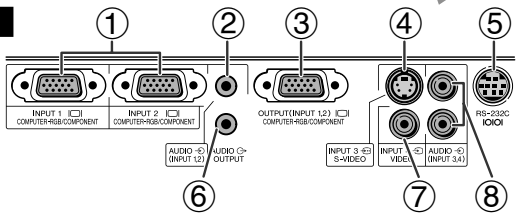
49 排気孔

47 スピーカー

盗難防止用コネクター
(Kensington Security Standard connector)

盗難防止用コネクターについて
・市販の盗難防止用ケーブル（Kensington社製）などを接続することができます。盗難防止用コネクターは、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

端子



端子	内容	ページ
①	**INPUT1、2（入力1、2）端子** ■ コンポーネント（色差）出力端子付き機器（DVD、デジタルチューナー、ハードディスクレコーダーなど）を接続します	25
	■ コンピュータと接続します	27
②	**AUDIO INPUT（音声入力）端子** 音声ケーブルを接続します（INPUT（入力）1、2共有）	25 27
③	**OUTPUT（出力）端子（入力1/入力2共有）** 投映する画像をモニターで同時に見たいときにモニターを接続します（INPUT（入力）1、2共有）	28
④	**INPUT3（入力3）端子** S映像出力端子がある機器（DVDプレーヤー、ビデオなど）を接続します	26
⑤	**RS-232C端子　　サービスマン用の端子です。**	–
⑥	**AUDIO OUTPUT（音声出力）端子** アンプやオーディオ機器と音声ケーブル（市販品）を使い接続します（INPUT（入力）1、2、3、4共有）	29
⑦	**INPUT4（入力4）端子** S映像出力端子のないビデオなどを接続します	26
⑧	**AUDIO INPUT（音声入力）端子** 音声ケーブルを接続します（INPUT（入力）3、4共有）	26

リモコン

■の中の数字は参照ページを示します。

STANDBY（スタンバイ）ボタン 31
電源を待機状態にします。

KEYSTONE(キーストーン補正)ボタン 35
投映角度により生じる台形歪みを補正する画面にします。

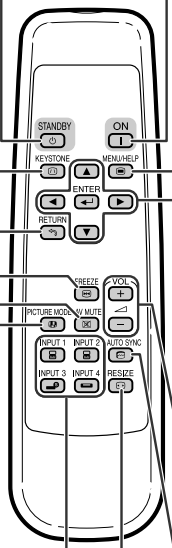
RETURN（戻す）ボタン 41
メニュー画面操作時、一つ前の画面に戻します。

FREEZE(静止画)ボタン 38
映像を静止画の状態にします。

AV MUTE（AVミュート）ボタン 34
プロジェクターからの映像と音声を一時的に消します。

PICTURE MODE（映像モード） ボタン 38
ゲームなどの投映画像に合わせて最適な映像を選びます。

INPUT（入力切換）1、2、3、4ボタン 32
入力モードを切り換えます。



ON（電源入）ボタン 30
電源を入れます。

MENU/HELP(メニュー/ヘルプ)ボタン 41 48
各種設定・調整用の画面やヘルプ画面を表示します。

カーソルボタン(▲/▼/◀/▶) 41
- メニュー設定に使用します。
- KEYSTONE（キーストーン補正）ボタンを押したときは、台形歪みを補正します。

ENTER（決定）ボタン 41
メニューで選択調整した項目を決定します。

VOLUME(音量)ボタン 34
スピーカーからの音量を調整します。

AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン 38
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

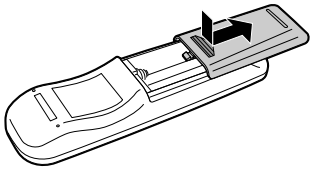
RESIZE(画面サイズ切換)ボタン 36
映像に合わせて画面サイズを切り換えます。

つづく

各部のなまえとはたらき（つづき）

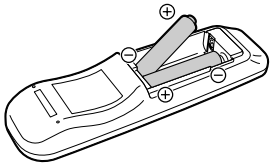
乾電池の入れかた

1 **カバーを矢印の方向にスライドさせ、開ける**

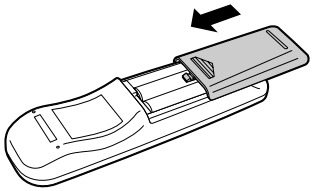


2 **付属の乾電池を入れる**

・プラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れて下さい。



3 **カバーを矢印の方向にスライドさせ、閉める**



乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

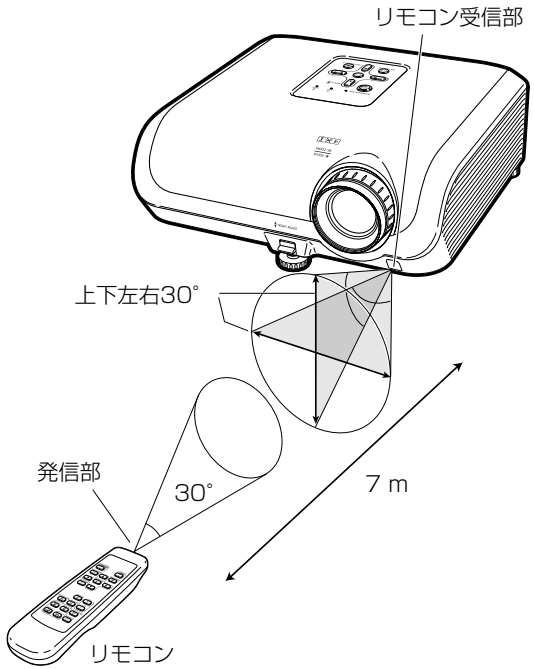
⚠ 注意

- 乾電池の⊕極と⊖極は、表示どおり正しく入れてください。
- 乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときや乾電池を使い切ったときは、液がもれて故障の原因となる恐れもありますので、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。
- 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）に従って処理してください。

リモコンの使用範囲

リモコンの使用範囲は図のとおりです。



メモ

・リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

リモコン使用上のご注意

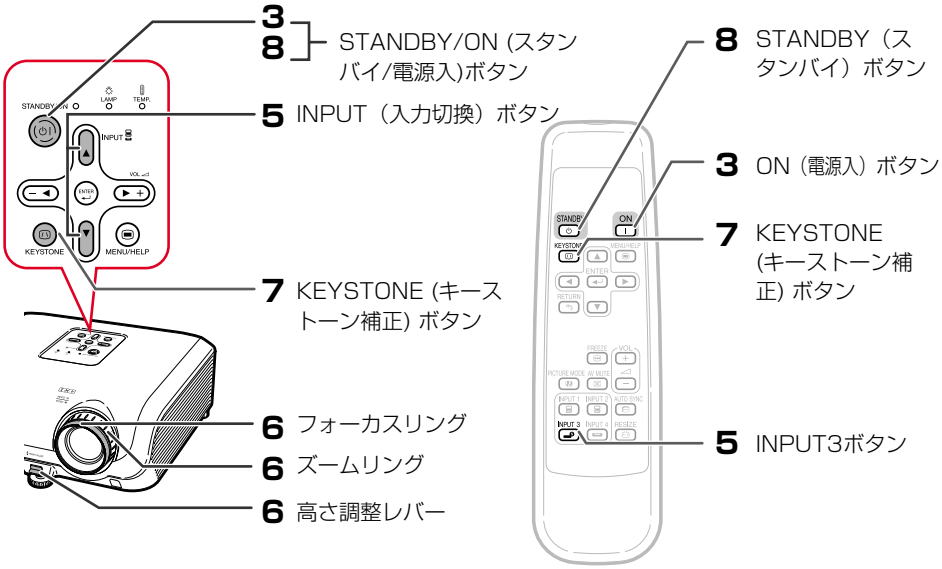
- 衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。
- 蛍光灯の下では、リモコンの働きが悪くなる場合があります。そのようなときは、本体を蛍光灯から離してご使用ください。

基本的な使いかた

このページでは、本機の基本的な使いかた（ビデオ機器を接続して投映）を説明しています。
詳しくは各項目に記載されているページをご覧ください。

設置から投映まで

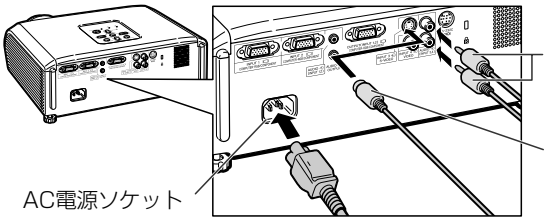
ここでは、本機とビデオ機器の接続を例に説明します。



1. 本体を映したいスクリーンに向けて置く

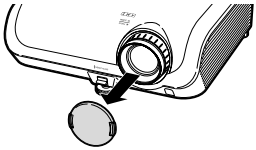
➡20ページ

2. 電源コードおよびビデオ機器を接続する



➡24-30ページ

3. レンズキャップを外し、電源を入れる



本体 STANDBY/ON　リモコン ON

➡30ページ

4. ビデオ機器の電源を入れる

5. 入力モードを選ぶ

INPUT（入力切換）ボタンで「入力3」を選ぶ

本体

リモコン

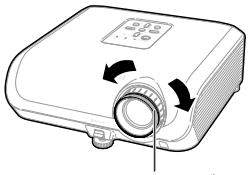
▼画面表示

・本体の▲または▼INPUTボタンを押すと、入力1↔入力2↔入力3↔入力4 の順番で切り換わります。
・リモコンで入力モードを切り換えるときは、INPUT 1/INPUT 2/INPUT 3/INPUT 4ボタンを押して切り換えます。

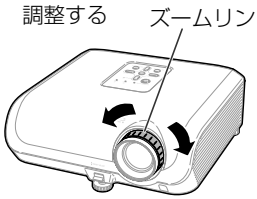
➡32ページ

6. ピント、画像の大きさ、投映角度を調整する

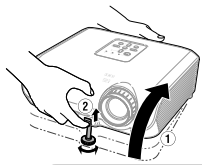
1.フォーカスリングをまわしてピントを調整する



2.ズームリングをまわして投映映像の大きさを調整する



3.高さ調整レバーで投映角度を調整する

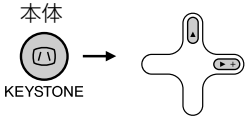


➡32-33ページ

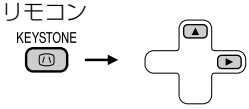
7. 台形歪みを調整する

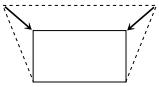
キーストーン補正で台形の歪みを補正する

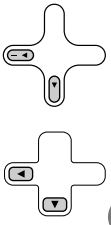
本体

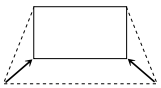


リモコン









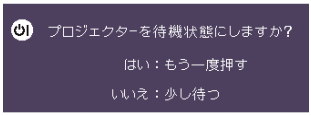
➡35ページ

8. 電源を切るときは

本体のSTANDBY/ON（スタンバイ/電源入）ボタン、または、リモコンのSTANDBY（スタンバイ）ボタンを押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す

本体

リモコン



・冷却ファンが停止してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

➡31ページ

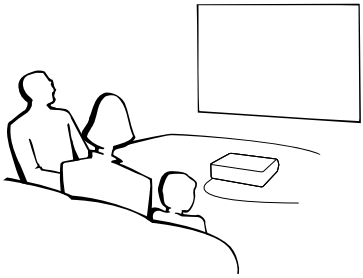
本機を設置する

本機の設置のしかた

プロジェクターを水平な状態にして（アジャスターを使わない状態）、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で投映すると台形補正の必要がなく、最良の映像が得られます。

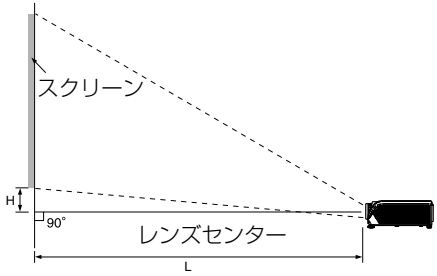
基本的な設置（前面からの投映）

■ 投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。（22ページ）



基本設置例

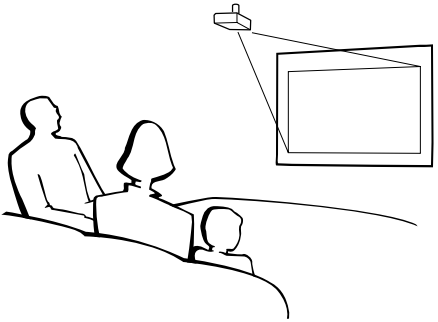
横から見たとき



メモ

・詳しくは、画面サイズと投映距離をご覧ください。（22ページ）

天井取り付けによる投映



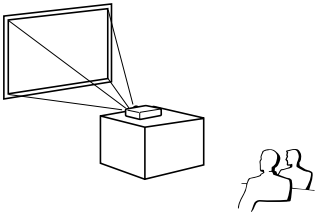
■ 天井に取り付ける場合は、別売の取り付けユニットおよび天吊り用取り付けアダプター「AN-60KT」が必要です。シャープ製品取扱いのお店で、ご購入（お取り寄せ）いただけます。また、取り付けの際は、技術と経験が必要ですので、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。別売の天吊り用取り付けアダプター「AN-60KT」の取り付けは、天吊り用取り付けアダプターに付属されている説明書をご覧ください。

■ 「表示設定」メニューの「投映方式」で「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。（45ページ）

投映方式

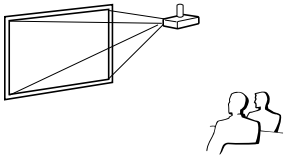
本機は、下図の4通りの投映方式が可能です。設定場所に応じた投映方式を選択してください。
（投映方式の設定は「表示設定」メニューで行うことができます。**45**ページをご覧ください。）

■ 床置き前方投映



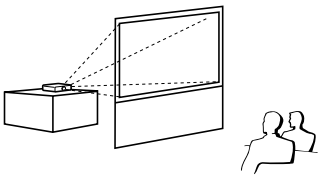
メニュー項目→「フロント」

■ 天吊り前方投映



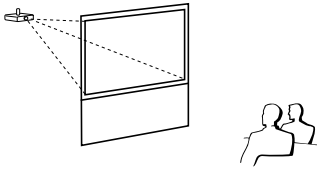
メニュー項目→「天吊り」

■ 床置き後方投映（透過スクリーン使用）



メニュー項目→「リア」

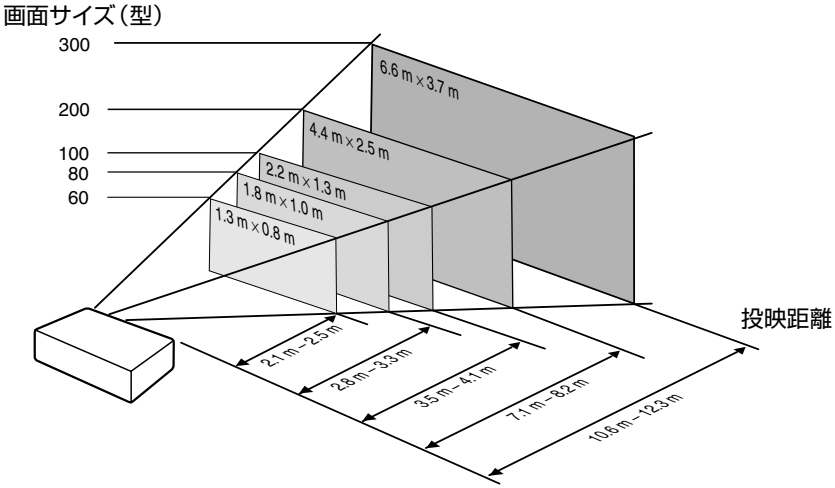
■ 天吊り後方投映（透過スクリーン使用）



メニュー項目→「天吊り+リア」

投映画像の大きさと設置距離のめやす

例:「スクイーズ」モード（16:9）



つづく

本機を設置する(つづき)

画面サイズと投映距離

16:9ワイドスクリーン使用時(16:9映像を16:9ワイドスクリーンに投映した場合)

画面サイズ			投映距離(L)		レンズセンター位置から画面の
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	最短(L1)	最長(L2)	最下端までの距離(H)
300″	6.64	3.74	10.6 m	12.3 m	−97 cm
270″	5.98	3.36	9.6 m	11.1 m	−87 cm
250″	5.53	3.11	8.9 m	10.2 m	−81 cm
200″	4.43	2.49	7.1 m	8.2 m	−64 cm
150″	3.32	1.87	5.3 m	6.1 m	−48 cm
100″	2.21	1.25	3.5 m	4.1 m	−32 cm
80″	1.77	1.00	2.8 m	3.3 m	−26 cm
70″	1.55	0.87	2.5 m	2.9 m	−23 cm
60″	1.33	0.75	2.1 m	2.5 m	−19 cm
40″	0.89	0.50	1.4 m	1.6 m	−13 cm

χ:画面サイズ(型)
L:投映距離(m)
L1:最短投映距離
L2:最長投映距離
H:レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(cm)

画面サイズと投映距離の近似式
L1=0.03541χ
L2=0.04098χ
H=−0.32249χ

4:3標準スクリーン使用時(4:3映像を4:3標準スクリーンに投映した場合)(「標準」モード)

画面サイズ			投映距離(L)		レンズセンター位置から画面の
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	最短(L1)	最長(L2)	最下端までの距離(H)
300″	6.10	4.57	13.0 m	15.0 m	−118 cm
270″	5.49	4.11	11.7 m	13.5 m	−107 cm
250″	5.08	3.81	10.8 m	12.5 m	−99 cm
200″	4.06	3.05	8.7 m	10.0 m	−79 cm
150″	3.05	2.29	6.5 m	7.5 m	−59 cm
100″	2.03	1.52	4.3 m	5.0 m	−39 cm
80″	1.63	1.22	3.5 m	4.0 m	−32 cm
70″	1.42	1.07	3.0 m	3.5 m	−28 cm
60″	1.22	0.91	2.6 m	3.0 m	−24 cm
40″	0.81	0.61	1.7 m	2.0 m	−16 cm

χ:画面サイズ(型)
L:投映距離(m)
L1:最短投映距離
L2:最長投映距離
H:レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(cm)

画面サイズと投映距離の近似式
L1=0.04334χ
L2=0.05015χ
H=−0.39468χ

4:3標準スクリーン使用時（16:9映像を横幅いっぱいに4:3標準スクリーンに投映した場合）

画面サイズ			投映距離（L）		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（H）
対角（型）	幅（m）	高さ（m）	最短（L1）	最長（L2）	
300″	6.10	4.57	9.8 m	11.3 m	−89 cm
270″	5.49	4.11	8.8 m	10.2 m	−80 cm
250″	5.08	3.81	8.1 m	9.4 m	−74 cm
200″	4.06	3.05	6.5 m	7.5 m	−59 cm
150″	3.05	2.29	4.9 m	5.6 m	−44 cm
100″	2.03	1.52	3.3 m	3.8 m	−30 cm
80″	1.63	1.22	2.6 m	3.0 m	−24 cm
70″	1.42	1.07	2.3 m	2.6 m	−21 cm
60″	1.22	0.91	2.0 m	2.3 m	−18 cm
40″	0.81	0.61	1.3 m	1.5 m	−12 cm

χ：画面サイズ（型）
L：投映距離（m）
L1：最短投映距離
L2：最長投映距離
H：レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（cm）

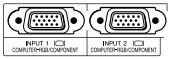
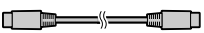
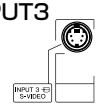
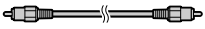
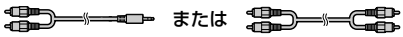
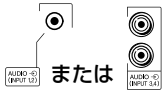
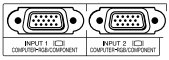
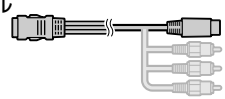
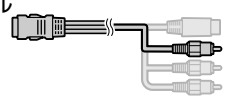
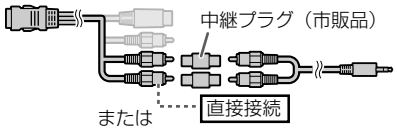
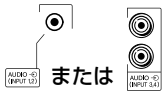
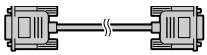
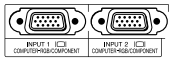
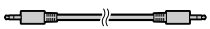
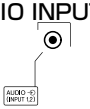
画面サイズと投映距離の近似式
L1＝0.0325χ
L2＝0.03761χ
H＝−0.29601χ

メモ

・投映距離(L)とレンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)の関係については、**20**ページをご覧ください。
・上記表の寸法は若干の誤差があります。
・表中に“−”（マイナス記号）がついた値は、レンズセンターからの直線距離がスクリーンより下になることを示しています。

接続する機器と使用するケーブル例

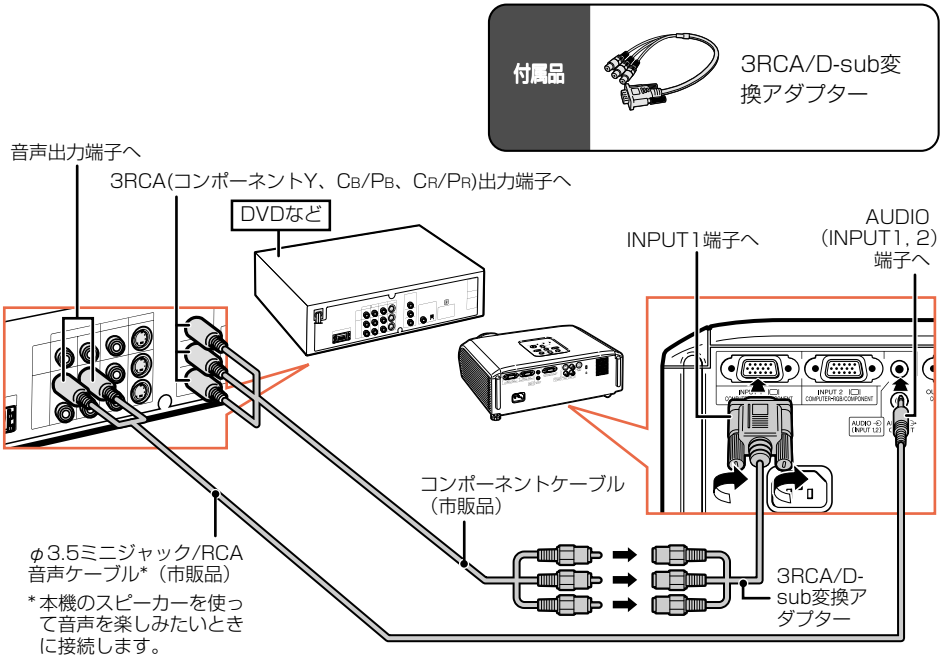
・使用しているケーブル名称は一例です。接続する機器によっては機器専用のケーブルを使用したり、変換プラグやアダプターが必要となる場合があります。詳しくは本機に接続する機器の取扱説明書で確認してください。

接続機器	入力信号	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
AV機器	コンポーネント映像	コンポーネントケーブル（市販品） 3RCA/D-sub変換アダプター（付属品）	INPUT1、2 
	S映像	S映像ケーブル（市販品） 	INPUT3 
	映像	映像ケーブル（市販品） 	INPUT4
	音声	音声ケーブル：ピンジャック－φ3.5ステレオミニジャックタイプ変換ケーブル（市販品）  または	AUDIO INPUT  または
カメラ、ゲーム機	コンポーネント映像	専用ケーブル 3RCA/D-sub変換アダプター（付属品）	INPUT1、2 
	S映像	専用ケーブル 	INPUT3
	映像	専用ケーブル 	INPUT4
	音声	専用ケーブル/音声ケーブル：ピンジャック－φ3.5ステレオミニジャックタイプ変換ケーブル（市販品）  中継プラグ（市販品） または 直接接続	AUDIO INPUT  または
コンピュータ	RGB映像	RGBケーブル（市販品） 	INPUT1、2 
	コンピュータ音声	コンピュータ音声ケーブル（φ3.5ステレオミニジャックタイプ/市販品） 	AUDIO INPUT 

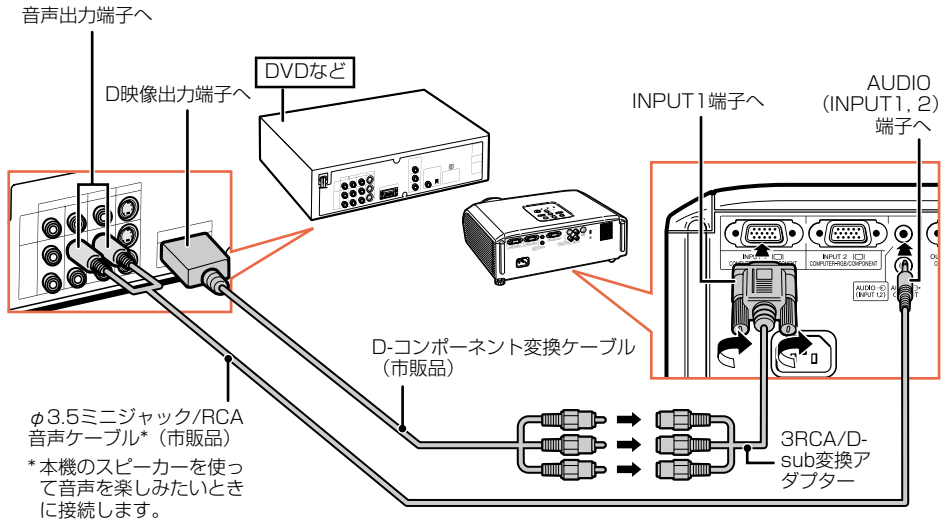
ビデオ機器を接続する

接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。

コンポーネント映像出力端子付き機器と接続する場合（INPUT1または2）

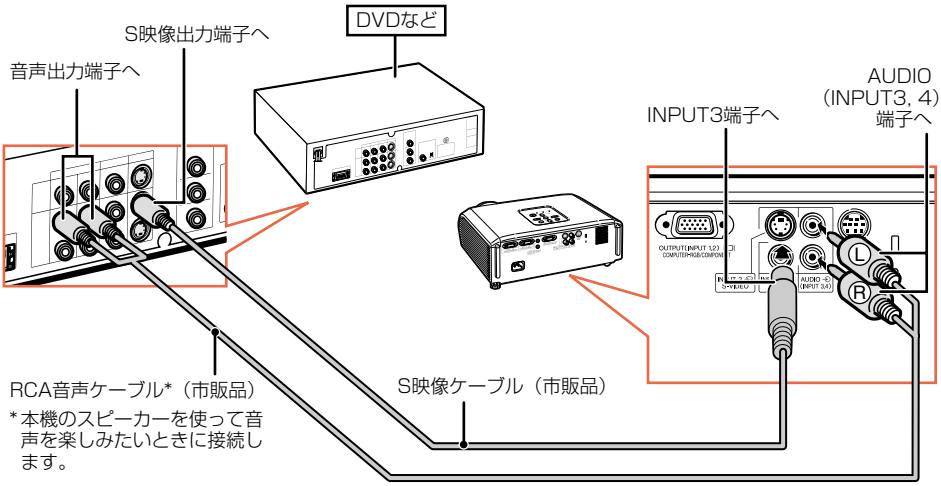


D映像出力端子付き機器と接続する場合（INPUT1または2）



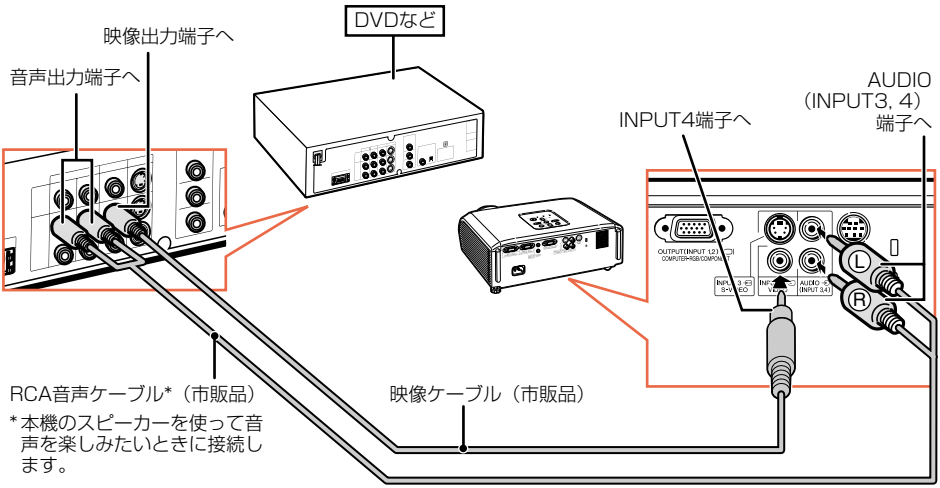
ビデオ機器を接続する（つづき）

S映像出力端子付き機器と接続する場合（INPUT3）



*本機のスピーカーを使って音声を楽しみたいときに接続します。

映像出力端子付き機器と接続する場合（INPUT4）

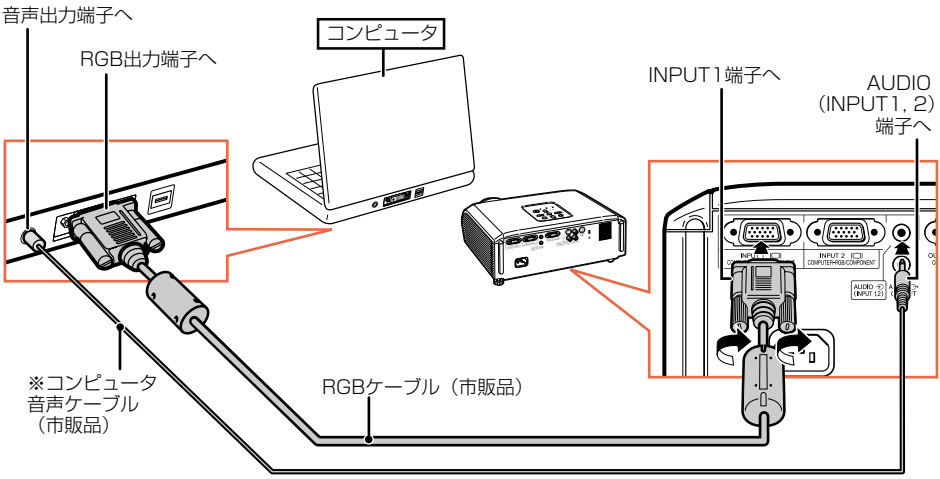


*本機のスピーカーを使って音声を楽しみたいときに接続します。

コンピュータを接続する

コンピュータと接続した場合、コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。

接続の際は、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。



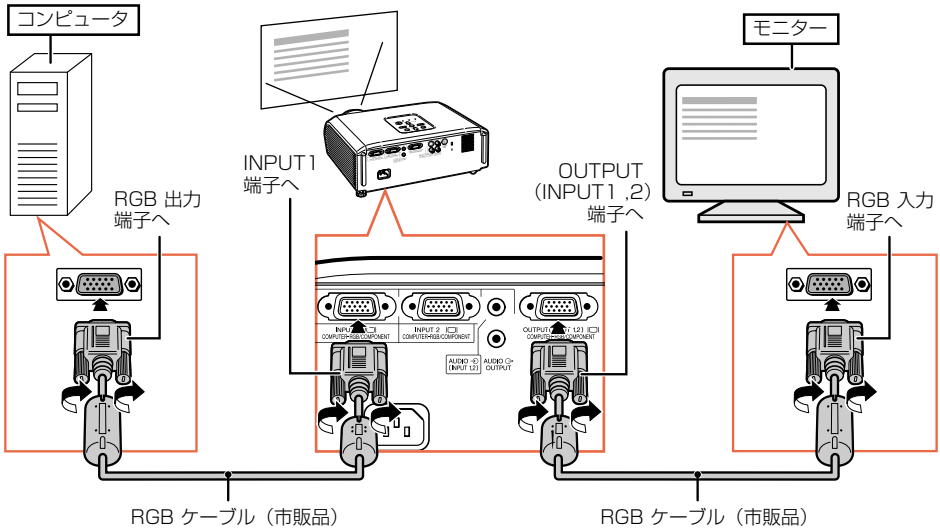
※モノラル音声ケーブルを使用した場合、ステレオ音声ケーブルに比べ音量レベルが約半分になります。

メモ

- 対応しているコンピュータの表示モードについては、「RGB入力信号（推奨信号）について」（**56**ページ）をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本機の機能の一部が使用できない場合があります。
- Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター（**59**ページ）へお問い合わせください。
- お使いのコンピュータによっては、外部出力ポートを有効にしないと映像が表示されない場合があります。シャープ製のノート型コンピュータでは、Fnキーと F5キーを同時に押すと外部出力ポートが有効になります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

RGB 入力端子付きモニターを接続する

本機はRGB ケーブルを2 本使って、コンピュータの出力をプロジェクターとモニターの両方で表示させることができます。

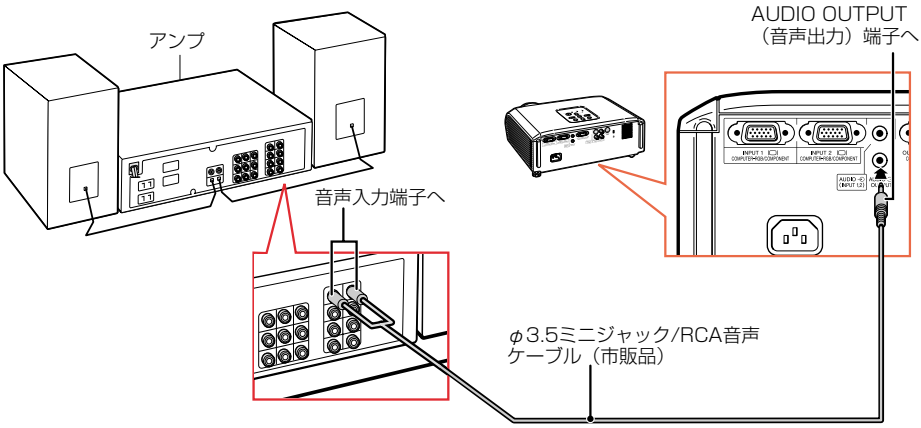


メモ

・RGB 信号およびコンポーネント（色差）信号をモニター出力することができます。

アンプやその他のオーディオ機器と接続する

本機の各AUDIO INPUT（音声入力）端子に接続されている機器から入力された音声をオーディオ機器などへ出力することができます。出力される音声は、選ばれた入力モードの音声が出力されます。



メモ

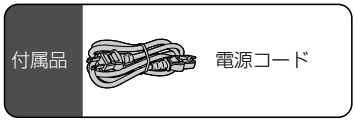
・音声ケーブル（市販品）は、直径3.5ミニジャック／RCA音声ケーブルをご用意ください。
・接続するときは、プロジェクターとオーディオ機器の両方の電源を切ってから行ってください。
・アンプ等と接続している場合、電源を切るときはアンプの電源を切ってから、プロジェクターの電源を切ってください。
・音声出力は、本機の音声に連動して音声出力が可変します。

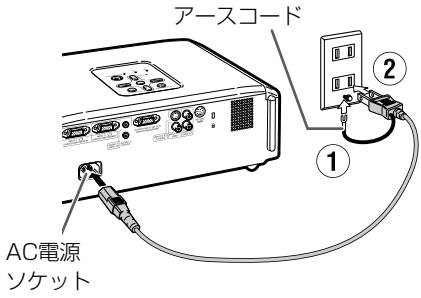
電源の入れかた/切りかた

電源コードを接続する

プロジェクターの背面にあるAC電源ソケットに電源コードを接続する

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

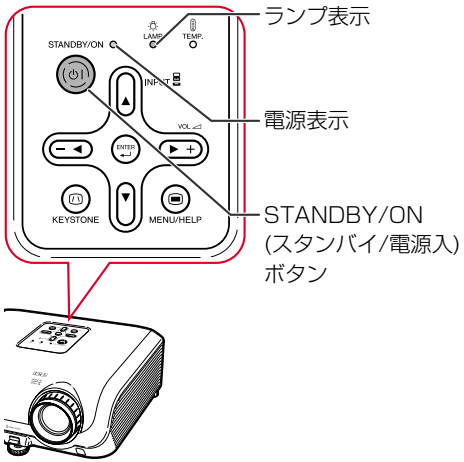


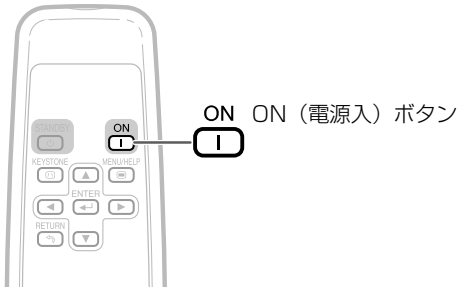


電源を入れるとき

操作を始める前に、外部機器との接続・電源コードの接続を済ませておいてください。（25～30ページ）

レンズキャップを外し、本体の ⏻ STANDBY/ONまたはリモコンの ⏻ ONを押す





メモ

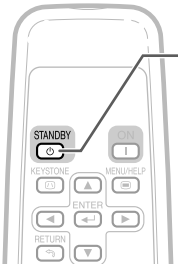
- **ランプ表示について**
  動作状況を以下のようにお知らせします。
  緑色点灯：ランプ点灯中
  緑色点滅：ランプ起動中/終了中
  赤色点灯：ランプが正常に起動しない（点灯しない）/ランプ交換
- 電源を入れ、ランプが起動してから約1分間は、まれに投映画像がちらつくことがあります。これはランプ制御回路が出力を安定させるための動作であり、故障ではありません。
- プロジェクターを待機状態にした直後に再び電源を入れると、ランプ（光源）が起動するまで多少時間がかかる場合があります。

電源を切る(待機状態にする)とき

1 **本体の⏻STANDBY/ONまたはリモコンの⏻ STANDBYを押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す**

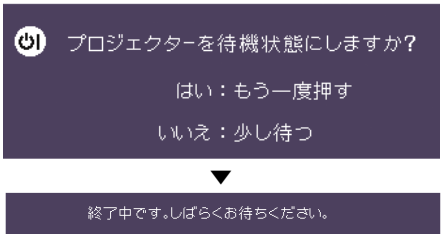
2 **冷却ファンが停止してから、電源プラグをコンセントから抜く**

・冷却中は、本体の電源表示が緑色に点滅します。
・冷却が終了すると電源ランプが赤色点灯に変わります。



STANDBY STANDBY(スタンバイ)ボタン

▼画面表示(確認画面)



お知らせ

・投映中および冷却ファンの動作中は、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に停止するため、温度上昇により故障の原因となります。

本体の操作ボタンをロックする(キーロック機能)

本体上面のボタンをロックし、使用中の誤操作やいたずらを防止することもできます。

■ キーロックの設定のしかた

本体の電源が入っているときに、本体の ENTERを約5秒間押し続ける

・キーロックをした状態で本機を操作したいときは、リモコンで操作してください。
・「起動中」と画面表示されているときにはキーロックの設定が行えません。

▼画面表示

■ キーロックの解除のしかた

本体の電源が入っているときに、本体の ENTERを約5秒間押し続ける

・本体が待機状態のときに、本体のENTERと⏻STANDBY/ONを同時に約5秒間押し続けてもキーロックは解除できます。

▼画面表示

お知らせ

・メニュー画面表示中、スタンバイ中、起動中、入力切換中、自動同期調整中、フリーズ中は、キーロックが設定できません。

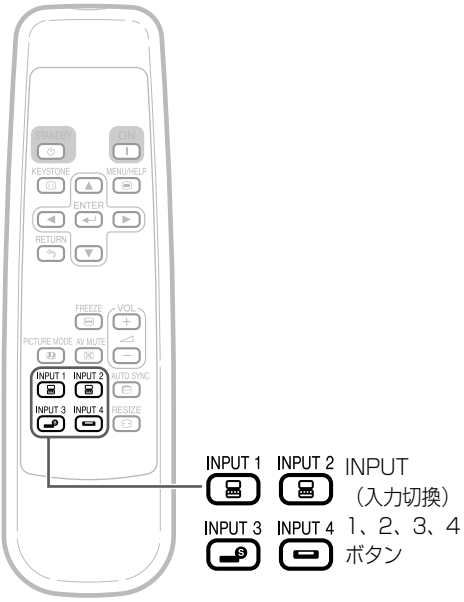
投映のしかた

入力を切り換える

接続した機器にあわせて、入力を選択します。

リモコンの INPUT 1、INPUT 2、INPUT 3、INPUT 4を押し、入力を選ぶ

・本体のINPUT（入力切換）ボタン（▲または▼）を押すと、入力1↔入力2↔入力3↔入力4 の順番で切り換わります。
・自動入力サーチ「入」のとき、本体のＩＮＰＵＴ（入力切換）ボタン（▲または▼）は自動入力サーチボタンとして働きます。（**46**ページ）



投映画像を調整する

1 投映映像のピントを調整する

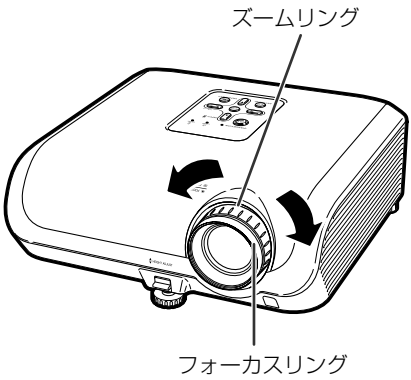
フォーカス（ピント）調整は本体で行います。

画面を見ながらフォーカスリングをまわして調整する

2 投映映像の大きさを調整する

ズーム操作は本体で行います。

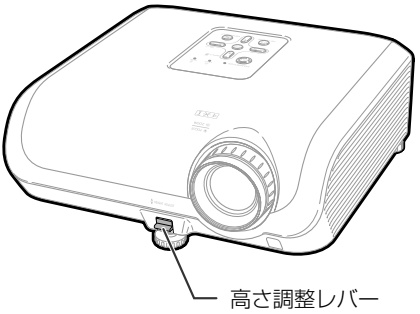
ズームリングをまわして拡大/縮小する



3 アジャスターを使って投映角度を調整する

スクリーンに傾斜があるときや、設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを調整することができます。

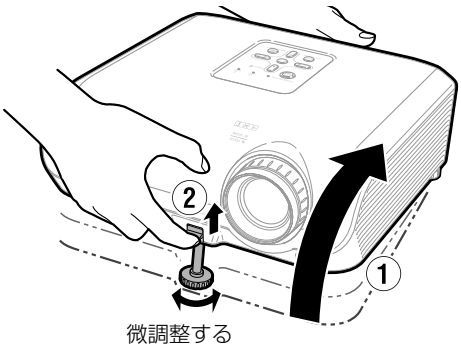
また、プロジェクターよりスクリーンが高い位置にあるときは、上に傾けることで投映画面の位置を高くすることができます。



1 高さ調整レバーを引き上げたまま、プロジェクターを持ち上げて高さ調整する

2 お好みの高さになったところで、高さ調整レバーから手を離す

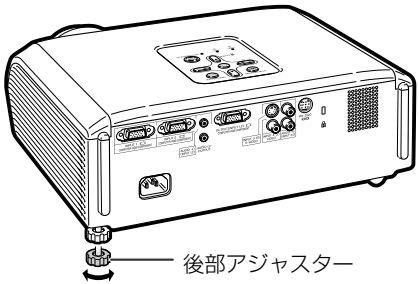
・プロジェクターは水平に置いた状態から約8度まで角度調整することができます。



微調整する

3 左右の傾きを補正するときは後部アジャスターで調整する

・設置位置から±1度補正することができます。



メモ

・投映角度を調整すると投映画像が台形に歪みます。補正する場合は台形補正機能を設定します。詳しくは**35**、**45**ページをご覧ください。

お知らせ

・アジャスターが出ている状態で、過度な力を加えないでください。アジャスターが破損するなど、故障の原因となります。
・プロジェクターを下げる際には、アジャスターとプロジェクターのすき間に指を挟まないようにご注意ください。
・プロジェクターはしっかり持ってお取り扱いください。
・レンズ部を持たないでください。

つづく

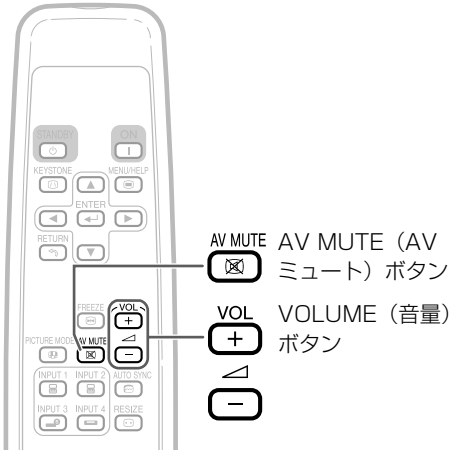
投映のしかた（つづき）

本体の音量を調整する

リモコンの⊖/⊕ または本体の−◀/▶＋を押し、スピーカーの音量を調整する

メモ

・⊖/−◀を押すと音量が小さくなります。
・⊕/▶＋を押すと音量が大きくなります。
・外部機器接続時は、外部機器の音量も調整できます。
・外部機器接続時、本体のスピーカーから出力される音声を消したいときは、「メニュー」−「本体設定」−「スピーカー」で「切」に設定します。（47ページ）



▼画面表示

投映した映像と音声を一時的に消す

映像と音声を一時的に消したいときはリモコンの⊠ AV MUTEを押す

メモ

・もう一度⊠AV MUTEを押すと、投映画像に戻ります。

画面の台形歪みを補正する（キーストーン補正）

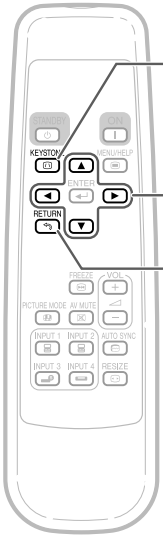
キーストーン（画面の台形歪み）補正が行えます。

メモ

※キーストーン補正とは

・映像をスクリーンに対して上下から角度をつけて投映すると、画像が台形に歪みます。この台形の歪みを補正する機能がキーストーン補正です。

・キーストーンで補正できる角度は、スクリーンに対して上下±約13度までです。（画面サイズ:「スクイーズ」の場合）



1 KEYSTONEを押す

・キーストーン補正画面になります。

・本体の㉘KEYSTONEでも表示できます。

2 ▲/▶または◀/▼を押し、調整する

・本体のカーソルボタンを使ってキーストーン補正値を調整することもできます。

メモ

・キーストーン補正調整を取り消すときは、キーストーン補正画面が表示されている間に㉙RETURNを押します。

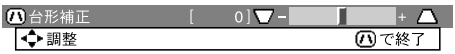
3 KEYSTONEを押す

・キーストーン補正画面が解除されます。

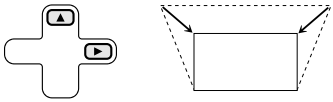
お知らせ

・台形補正を行うと、調整中、直線や表示された映像の端がギザギザになっているように見えることがあります。

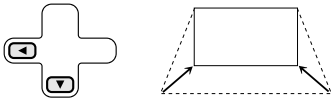
▼画面表示（キーストーン補正画面）



上辺を縮める（補正値を+方向へ）



下辺を縮める（補正値を−方向へ）



つづく

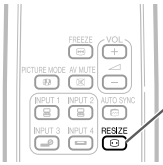
投映のしかた（つづき）

入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ

入力された信号の種類に合わせて、画像表示モード（「スクイーズ」・「標準」・「ズーム」）を切り換えることができます。**36**、**37**ページの表を参考に最適な画像サイズを選んでください。

RESIZEを押す

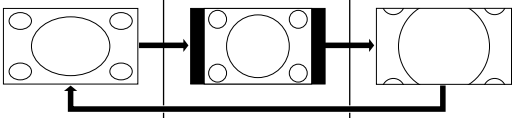
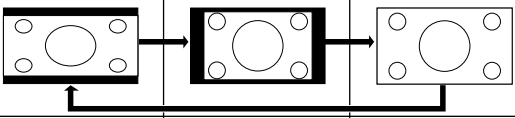
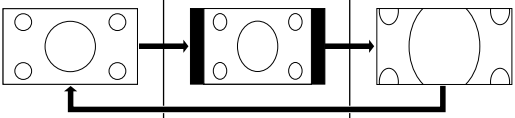
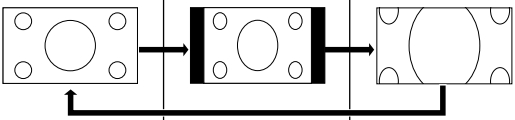
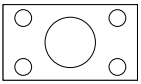
・メニューで設定する場合は**45**ページを参照してください。



RESIZE（画面サイズ切換）ボタン

ビデオ

・ 750Pまたは1125Iの信号を入力したときは、「スクイーズ」に固定されます。

入力信号		表示イメージ		
DVD/ビデオ	画像タイプ	スクイーズ	標準	ズーム
525I, 525P, 625I, 625P, NTSC, PAL, SECAM	縦横比4:3			
	レターボックス			
	スクイーズ			
	縦横比16:9の画像			
750P, 1125I	縦横比16:9の画像		—	—

■：マスクされ映像がない部分

コンピュータ

		スクイーズ	標準
4:3	SVGA (800 × 600)	854 × 480	640 × 480
	XGA (1024 × 768)		
	SXGA (1280 × 960)		
	SXGA + (1400 × 1050)		
その他	SXGA (1280 × 1024)	854 × 480	640 × 480
	1280 × 720	854 × 480	–

入力信号		表示イメージ		
コンピュータ	画像タイプ	スクイーズ	標準	ズーム
SVGAより解像度が低い				
SVGA	縦横比4:3			
SVGAより解像度が高い				
SXGA (1280×1024)	縦横比5:4			
1280×720	縦横比16:9		———	———

■：マスクされ映像がない部分

本機に入力される信号と表示について

DVDやデジタルビデオなどAV機器から入力される信号を、本機はINPUTボタンを押したときに表示します。表示される信号は、有効走査線数を表示しますので、つぎのようになります。

入力信号	本機の表示	入力信号	本機の表示
525I	480I	625P	576P
525P	480P	750P	720P
625I	576I	1125I	1080I

リモコンで投映画像を操作する

投映中の画像を静止画にする

1 **FREEZEを押す**
・投映中の画像が静止画になります。

2 **FREEZEを再度押す**
・接続した機器の現在の画像に戻ります。

投映する画像に合わせた映像モードを選ぶ

映画やゲームなど投映する画像に合わせた映像モードを選ぶことができます。

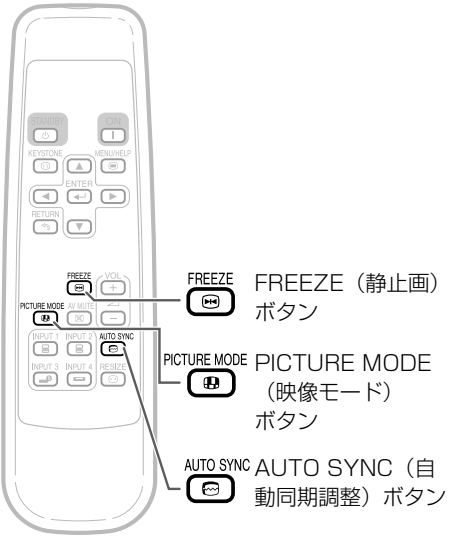
PICTURE MODEを押す
・押すたびに
標準→ナチュラル→ダイナミック
↑└シネマ2 ← シネマ1┘
の順番で切り換わります。

メモ
・映像モードについて、詳しくは**43**ページをご覧ください。

コンピュータから入力された画面を自動同期調整する（自動同期調整機能）

本体起動後に新たな映像信号を検出すると、自動同期調整機能が働きます。
AUTO SYNCを押すと強制的に自動同期調整機能が働きます。

メモ
・自動同期調整を行っても、お客様の意図した映像にならない場合は、ヘルプメニュー（**48**ページ）から手動で同期調整を行ってください。

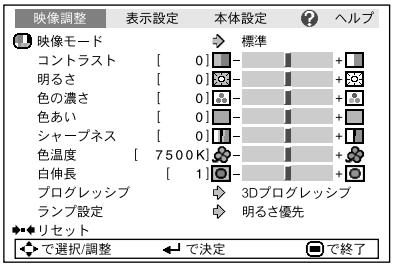


メニュー内容一覧

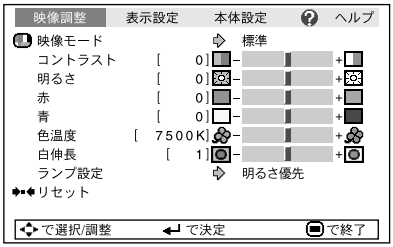
次の項目が本機で設定できます。

「映像調整」メニュー

入力1（色差）/入力2（色差）/入力3/入力4



入力1（RGB）/入力2(RGB)



メインメニュー：映像調整 ➡43ページ

- 映像モード ➡43ページ
  - 標準
  - ナチュラル
  - ダイナミック
  - シネマ1
  - シネマ2
- コントラスト -30 ↔ +30
- 明るさ -30 ↔ +30
- 色の濃さ -30 ↔ +30 *1
- 色あい -30 ↔ +30 *1
- シャープネス -30 ↔ +30 *1
- 赤 -30 ↔ +30 *2
- 青 -30 ↔ +30 *2

➡44ページ

- 色温度 ➡44ページ
  - 5500K
  - 6500K
  - 7500K
  - 8500K
  - 9300K
  - 10500K
- 白伸長[0 /1 /2] ➡44ページ
- プログレッシブ *1 ➡44ページ
  - 2Dプログレッシブ
  - 3Dプログレッシブ
  - フィルム
- ランプ設定 ➡44ページ
  - 明るさ優先
  - エコ+静音
- リセット

「表示設定」メニュー

メインメニュー：表示設定 ➡45ページ

- 画面サイズ ➡45ページ
  - スクイーズ
  - 標準
  - ズーム
- 台形補正 -100 ↔ +100 ➡45ページ
- 画面表示[入/切] ➡45ページ
- バックグラウンド ➡45ページ
  - ロゴ
  - ブルーバック
  - 無し
- 投映方式 ➡45ページ
  - フロント
  - 天吊り
  - リア
  - 天吊り＋リア
- 言語選択 ➡45ページ
  - English
  - Deutsch
  - Español
  - Nederlands
  - Français
  - Italiano
  - Svenska
  - Português
  - 汉语
  - 한국어
  - 日本語

■先頭にアイコン（、、）がついている項目はリモコン上のボタンでも直接設定することができる項目です。

*1 入力1か入力2にコンポーネント（色差信号）が入力されているとき、または入力3か入力4を選択しているときに設定できる項目です。

*2 入力1か入力2にRGB信号が入力されているときに設定できる項目です。

つづく

メニュー内容一覧(つづき)

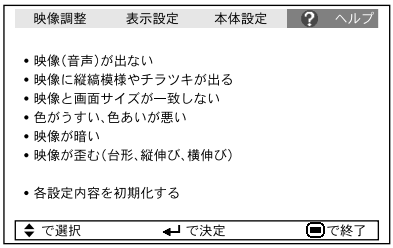
「本体設定」メニュー

メインメニュー　　サブメニュー

- 本体設定 ➡46ページ
  - 自動入力サーチ[入/切] ➡46ページ
  - 自動同期調整[入/切] ➡46ページ
  - 無信号電源オフ[入/切] ➡47ページ
  - 確認音[入/切] ➡47ページ
  - スピーカー[入/切] ➡47ページ
  - RS-232C *1
    - 9600 bps
    - 115200 bps
  - ファンモード ➡47ページ
    - 標準
    - 高
  - ランプ時間(残率) ➡47ページ

*1 サービスマン用の設定項目です。

「ヘルプ」メニュー



ヘルプメニューで設定できる項目

「ヘルプ」メニュー⇒48ページ

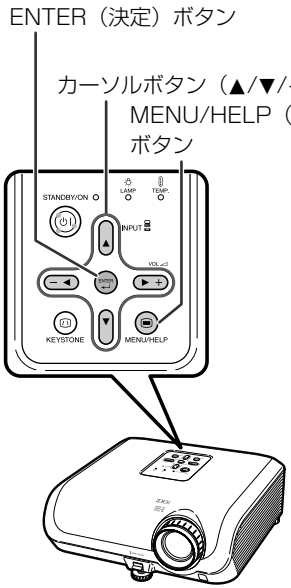
■映像に縦縞模様やチラツキが出る
- 自動同期調整
- 垂直ノイズ調整
- 水平ノイズ調整

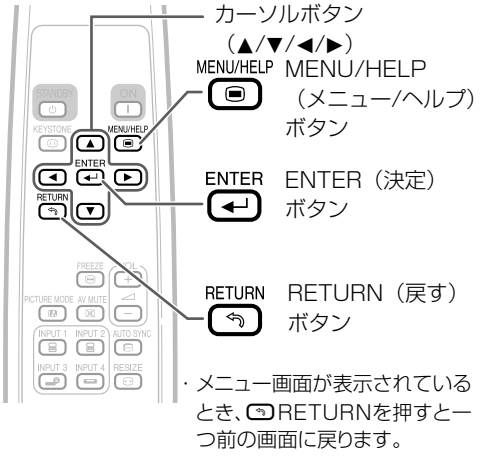
■映像と画面サイズが一致しない
- 自動同期調整
- 水平位置
- 垂直位置

■色がうすい、色あいが悪い
- 入力1、入力2選択時
  - 入力信号タイプ:自動/RGB入力/色差入力
- 入力3、入力4選択時
  - 映像信号方式: 自動/ＰＡＬ/ＳＥＣＡＭ/NTSC4.43/NTSC3.58/PAL-M/PAL-N/PAL-60

* 設定できる項目は、入力されている信号や選択している入力で変わります。

メニュー操作のしかた





メニュー画面で調整する

例:「明るさ」を調整するとき

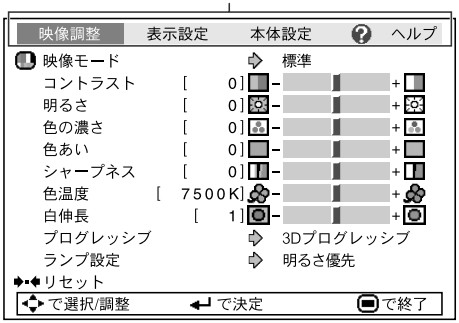
・本体のボタンを使って操作することもできます。

1 **MENU/HELPを押す**

・選んでいる入力の「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 **▶または◀を押し、調整するメニュー項目「映像調整」を選ぶ**

入力1 コンポーネントモードの「映像調整」メニュー画面例　メニュー項目

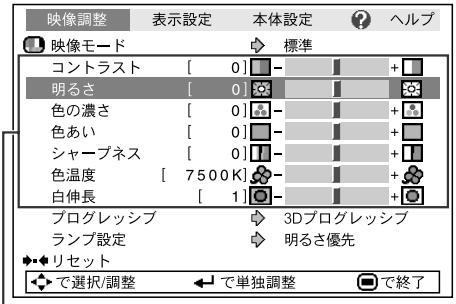


つづく

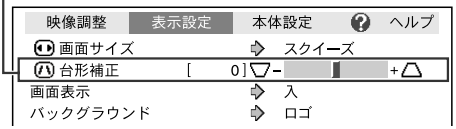
メニュー操作のしかた(つづき)

3 ▲または▼を押し、調整する項目「明るさ」を選ぶ

・選ばれた調整項目の色が変わります。



調整可能項目



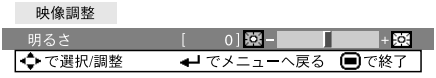
投映している画像を見ながら調整したいとき

ENTERを押します。

・選んだ項目(例:「明るさ」など)が画面下へ単独表示されます。

・この表示の状態で▲または▼を押すと次の項目(「明るさ」の次は「色の濃さ」)が表示されます。

＜単独表示＞

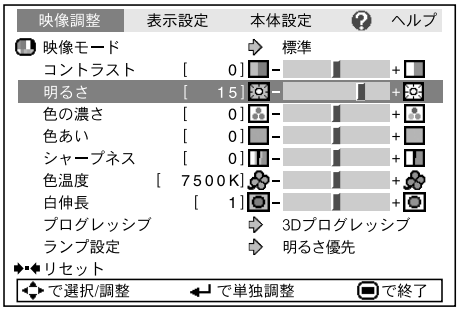


メモ

・再度ENTERを押すと、前の画面に戻ります。

4 ◀または▶を押し、選んだ項目の調整(設定)をする

・調整した内容が保存されます。



5 MENU/HELPを押す

・メニュー画面が消えます。

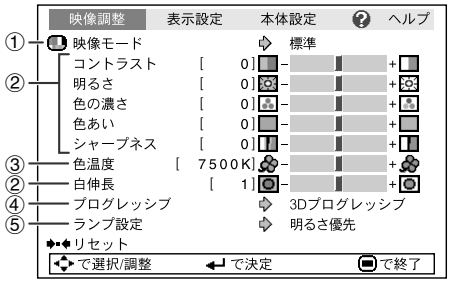
メモ

・自動同期調整中、静止画、AVミュートを行っているときは、MENU/HELPボタンが働きません。

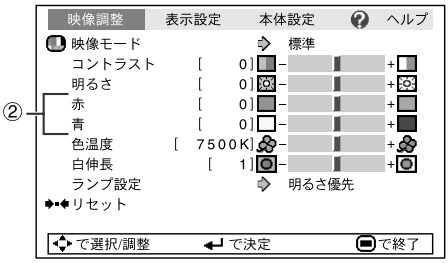
投映した映像を調整・設定する(映像調整メニュー)

操作方法⇒41ページ参照

▶入力3 の「映像調整」メニュー画面例



▶入力1 RGBモードの「映像調整」メニュー画面例



① 映像モードを選ぶ

選択項目	内容	映像モードを選んだときの初期設定内容		
		色温度	白伸長	ランプ設定
標準	標準の設定です。	7500K	1	明るさ優先
ナチュラル	落ち着いた画質になります。	7500K	0	明るさ優先
ダイナミック	メリハリのある画質になります。	7500K	2	明るさ優先
シネマ1	画面の暗い部分の階調表現を強調して豊かにします。	6500K	0	エコ+静音
シネマ2	ギラつきをおさえて落ちついたトーンになります。	5500K	0	エコ+静音

・映像調整メニュー内の各項目は、お好みに応じた組み合わせに変更できます。変更した内容はそのまま記憶されます。

メモ

・リモコンの PICTURE MODE(映像モード)ボタンでも選択できます。(**38**ページ)

つづく

投映した映像を調整・設定する(映像調整メニュー)(つづき)

操作方法⇒41ページ参照

② お好みの映像に調整する

調整項目	◀ボタン	▶ボタン
コントラスト	映像の明部と暗部の差を弱くする	映像の明部と暗部の差を強くする
明るさ	画像を暗くする	画像を明るくする
色の濃さ*1	色をうすくする	色を濃くする
色あい*1	紫がかった色あいにする	緑がかった色あいにする
シャープネス*1	画像の輪郭をやわらかくする	画像の輪郭をくっきりさせる
赤	赤みを弱くする	赤みを強くする
青	青みを弱くする	青みを強くする
白伸長	色再現性を重視します	明るくメリハリを効かせます

*1 RGB入力のときは表示されません。

メモ

・設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び↩ENTERを押します。

③ 色味を変える(色温度設定)

選択項目	内容
5500K 6500K 7500K 8500K 9300K 10500K	赤みがかった映像になります。 (温かい感じの色にしたいとき) ↕ 青みがかった映像になります。 (すっきりした感じの色にしたいとき)

メモ

・「色温度」の設定項目はおおよその数値です。

④ プログレッシブモードを選択する

インターレース映像をくっきりと投映するモードです。

選択項目	内容
2Dプログレッシブ	スポーツなど、動きの速い映像を投映するのに適しています。
3Dプログレッシブ	ドラマやドキュメンタリーなど、比較的動きの遅い映像を投映するのに適しています。
フィルム	フィルムイメージ※映像ソフトを再生するのに適しています。

※ 24コマ／秒の映像フィルムをそのまま記録しているDVDソフトなどを再生するとき、60コマ／秒のプログレッシブ映像に変換し、高画質で再生します。

メモ

・映像信号方式がNTSCまたはPAL60Hzの機器でフィルムイメージ映像ソフトを再生すると、「3Dプログレッシブ」に設定していても、自動的にフィルムモード機能が働きます。
・映像がボケる、ノイズが発生するなどの場合は、最適なプログレッシブモードを選んでください。
・プログレッシブ信号を入力したときは選択できません。

⑤ ランプ設定を選択する

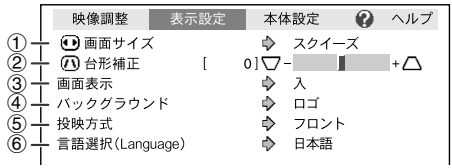
選択項目	明るさ	動作音(ファン)	消費電力(AC100Vのとき)	ランプ寿命
エコ+静音	約87%	低	305W	約3,000時間
明るさ優先	100%	標準	350W	約2,000時間

メモ

・ランプ設定を「エコ+静音」に設定すると、「明るさ優先」に比べて消費電力が低減すると同時に、ランプ寿命が長くなります。(投映画面の輝度も約13%低減します。)

表示のしかたを設定する(表示設定メニュー)

操作方法⇒41ページ参照



① 画面サイズを設定する

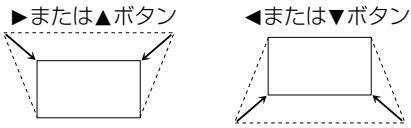
入力された信号の種類に合わせて、画像表示モードを切り換えることができます。

メモ

・画面サイズについて詳しくは、**36**～**37**ページをご覧ください。

・リモコンの RESIZE(画面サイズ切換)ボタンでも設定できます。(**36**ページ)

② 画面の台形歪みを補正する



台形補正について詳しくは**35**ページをご覧ください。

メモ

・台形補正できる角度は、スクリーンに対して±約13度までです。
(画面サイズ:「スクイーズ」の場合)

③ 画面に表示されている情報を表示しないように設定する(画面表示)

選択項目	内容
入	画面表示のすべてが表示されます。
切	入力モード表示、音量表示、AVミュート、静止画表示、自動同期調整表示、画面サイズ表示、映像モード表示、「無効なボタンが押されました。」は表示されません。

④ 無信号時やオープニング時に投映する画面を設定する(バックグラウンド設定)

選択項目	内容
ロゴ	SHARPロゴ画面
ブルーバック	青い画面
無し	—

⑤ 投映環境に合わせた投映方式を選択する

本機は投映する環境(場所)に合わせて映像を反転する機能を備えていますので、いろいろな対応が可能です。

選択項目	内容
フロント	通常映像(スクリーンの正面から投映するとき)
天吊り	上下反転された映像(プロジェクターを逆さまにしてスクリーンの正面から投映するとき)
リア	左右反転された映像(スクリーンの背面から投映したり、鏡を使って投映したとき)
天吊り+リア	左右/上下反転された映像(プロジェクターの映像を鏡を使って投映したとき)

・投映方式について、**21**ページも合わせてご覧ください。

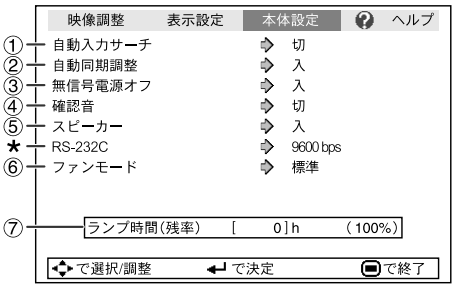
⑥ 画面に表示する言語を選択する(言語選択)

本機は画面表示の言語として11言語を切り換えることができます。

English	Svenska
Deutsch	Português
Español	汉语
Nederlands	한국어
Français	日本語
Italiano	

本体機能を設定する（本体設定メニュー）

操作方法⇒41ページ参照



*サービスマン用の設定項目です。

① 自動入力サーチ機能を設定する

プロジェクターの電源を入れたときに、信号が入力されている入力を自動的に探して切り換えます。

メモ

自動入力サーチ「入」にしたとき

- 複数の入力信号があるときは、本体のINPUT（入力切換）ボタン（▲または▼）を押すと、入力1・入力2・入力3・入力4の順に優先されて入力が選択されます。
- 自動入力サーチ「入」のとき、自動選択された入力以外の入力モードを選びたいときは、リモコンのINPUT（入力）ボタンを押して下さい。

② コンピュータの画面を自動調整する（自動同期調整機能）

選択項目	内容
入	プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で、プロジェクターの電源を入れたときや、入力を切り換えたときに、自動的に同期調整を行います。
切	自動的に同期調整を行いません。

メモ

- 自動同期調整はリモコンのAUTO SYNCを使って行うこともできます。
- 自動同期調整は投映するコンピュータの映像によっては時間がかかる場合があります。
- 自動同期調整を行っても、お客様の意図した映像にならない場合は、手動で同期調整（**48**ページ）を行ってください。

本体機能を設定する(本体設定メニュー)(つづき)

操作方法⇒41ページ参照

③ 無信号状態が続いたときに電源を自動的に待機状態にする(無信号電源オフ機能)

選択項目	内容
入	15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に待機状態になります。
切	無信号状態が15分以上続いても、電源「入」の状態を保持します。

メモ

・無信号自動電源オフ機能を「入」に設定したときは、無信号状態が続いたとき、待機状態になる5分前になると、1分ごとに「●分後に待機状態」の表示がでます。

④ 確認音を設定する

選択項目	内容
入	本体の電源を入切すると、確認音が出ます。
切	確認音が出ません。

⑤ 内蔵スピーカーの入/切を設定する(スピーカー設定)

選択項目	内容
入	内蔵スピーカーから音声が出ます。
切	内蔵スピーカーから音声が出なくなります。

⑥ ファンモードを設定する

ファンの回転速度を設定します。

選択項目	内容
標準	標準的な環境に適しています。
高	標高約1500m以上でご使用になるときに設定します。

・「ファンモード」を「高」に設定したときは、ファンの回転速度が速くなるためファン音が大きくなります。

⑦ ランプ使用時間を確認する(ランプ時間(残率))

ランプの使用時間と残率が表示されます。

ランプ使用条件		ランプ使用可能時間	
	残率表示	100%	5%
常に「ランプ設定」を「エコ+静音」にして使用		約3,000時間	約150時間
常に「ランプ設定」を「明るさ優先」にして使用		約2,000時間	約100時間

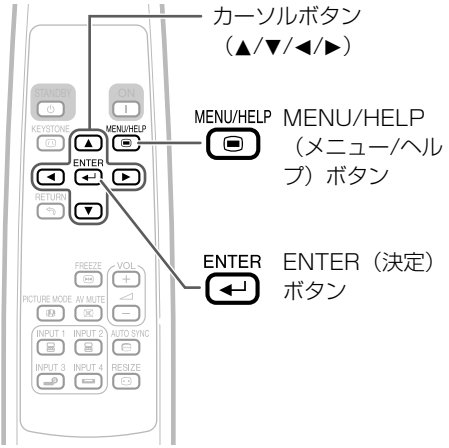
メモ

・ランプは、ランプ残率が5%で交換することをおすすめします。
・本機のランプ寿命は、使用状況によって変わることがあります。

操作に困ったときは(ヘルプメニュー)

操作に困ったときは、対話式のヘルプ機能で本機や投映映像を設定・調整することができます。

「ヘルプ」機能を使う

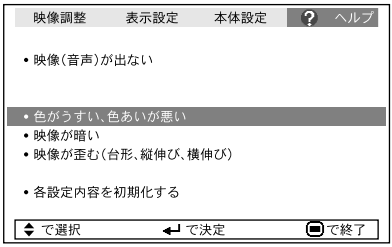


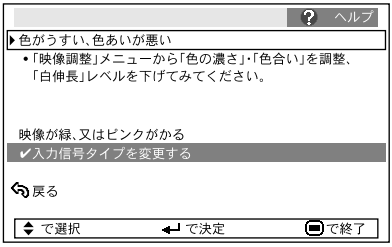
例: 映像が緑がかるとき
・入力1または入力2のコンポーネントモードで画面が緑がかるとき

1 **MENU/HELPを押す**

2 **◀/▶ を押して「ヘルプ」を選び、ENTERを押す。**

3 **▲/▼を押して「色がうすい、色あいが悪い」を選び、ENTERを押す**





4 **「入力信号タイプを変更する」を選び、ENTERを押す**

5 **「色差入力」を選び、ENTERを押す**

・以降にも操作がある場合は、画面のガイド表示にしたがって設定を進めてください。

メモ

・チェックマーク(✔)がついている項目を調整することができます。
・ヘルプメニュー内の項目は、入力される信号や選択している入力によって変わります。
・**ヘルプ機能で解決方法が見つからなかったときは、「故障かな?と思ったら」(57ページ)を参照してください。**

お手入れのしかた

キャビネットの手入れのしかた

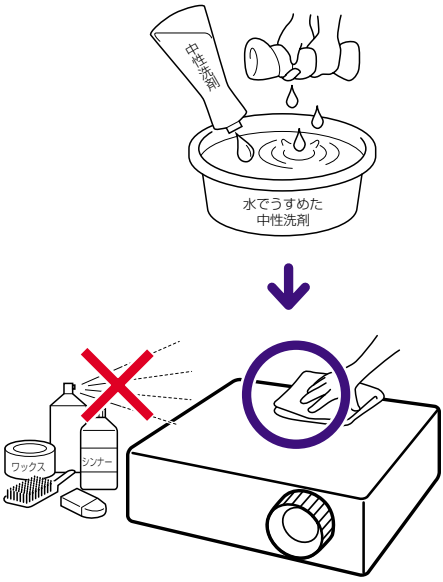
■キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。

■キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふくと変質したり、塗料がはげることがありますのでご使用にならないでください。

■殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。

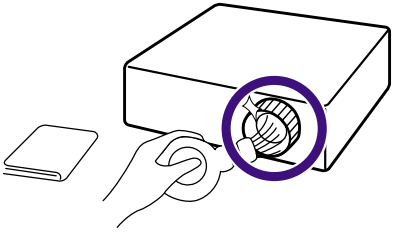
■汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。



レンズの手入れのしかた

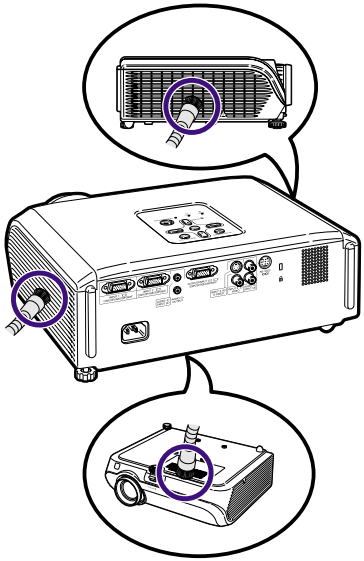
■レンズの清掃は、市販のブロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。

■表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたりしないでください。



排気孔や吸気孔の手入れのしかた

■排気孔や吸気孔の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。



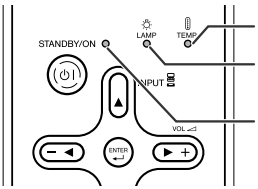
お知らせ

・プロジェクターの動作中に通風孔の掃除を行う場合は、本体の⏻STANDBY/ONまたはリモコンの⏻STANDBYを押して電源を待機状態にした後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。

お知らせ表示について

■ 本機では、内部の異常をお知らせ表示（電源表示、ランプ表示、温度モニター表示）が点灯してお知らせします。
■ 内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニター表示もしくはランプ表示が赤色に点灯し電源が待機状態になります。以下の処置を行ってください。

本体天面



温度モニター機能について

設置状況や通風孔の目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に「温度」が表示されます。さらに温度が上昇すると、ランプが消灯し温度モニター表示が点滅、ファン冷却後、待機状態になります。画面左下に「温度」の表示が出た時点で **51** ページの表の内容に従い処置をしてください。

ランプ交換お知らせ機能について

■ランプ残率が5%以下になると、「▨（黄色）」と「ランプを交換してください。」が画面に表示されます。残り時間が0%になると、「▩（赤色）」と「ランプを交換してください。」が画面に表示され、自動的にランプ（光源）が消灯し、電源が待機状態になります。このとき、ランプ表示が赤色点灯します。
■ランプを交換せずに電源を入れ直すと、**4回目からは電源が入らなくなります**のでご注意ください。

本体のランプ表示について

電源表示	赤色点灯	スタンバイ中です
	緑色点灯	電源「入」の状態です
	赤色点滅	異常があります（**51**ページ）
	緑色点滅	冷却中です
ランプ表示	緑色点灯	正常
	緑色点滅	光源起動中/終了中
	赤色点灯	ランプが正常に起動（点灯）しなかったとき、ランプの交換時期となったときです（**51**ページ）
温度モニター表示	消灯	正常
	赤色点灯	内部温度が上昇しています（**51**ページ）

お知らせ表示			現象	考えられる原因	処置のしかた
	正常	異常			
温度モニター表示	消灯	赤色点灯 (待機状態時)	内部温度が高温になっている	・通風孔がふさがれている	・正しい設置場所に設置してください。（**11**ページ）
				・冷却ファンの故障 ・内部回路の故障 ・内部通風孔の目づまり	・販売店、またはもよりのシャープ修理相談センター（**59**ページ）に修理を依頼してください。
ランプ表示	緑色点灯 （緑色点滅は光源起動中/終了中）	赤色点灯	ランプが正常に起動（点灯）しない	—	・電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで電源を入れてください。
			ランプ交換時期	・ランプ残率が5%以下になった	・ランプを交換してください。（**53**ページ） ・ランプの交換または修理は販売店、またはもよりのシャープ修理相談センター（**59**ページ）にお問い合わせください。 ・ランプを交換するときは、注意して行ってください。 ・ランプユニットカバーをしっかりと取り付けてください。
		赤色点灯 (待機状態時)	ランプ（光源）が点灯しない	・ランプ（光源）が切れた ・ランプ（光源）点灯回路故障	
電源表示	赤／緑色点灯 緑色点滅 （冷却中）	赤色点滅	プロジェクターの電源を入れると、電源表示が赤色点滅する	・ランプユニットカバーが外れている	・ランプユニットカバーをしっかり取り付けても電源表示が点滅する場合は、もよりのシャープ修理相談センター（**59**ページ）にお問い合わせください。

お知らせ

・温度モニター表示が点滅し、電源が待機状態になったときは、排気孔や吸気孔がふさがれていないことを確認（**11**ページ）し、再度電源を入れてください。再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで(10分以上)待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。
・プロジェクターを使用しているときに、停電などで一瞬電源が切れた直後に電源が復旧した場合、ランプ表示が赤色点灯し、ランプが点灯しなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、再度電源を入れ直してください。
・冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているためで、故障ではありません。
・投映中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

ランプを交換する

ランプについて

■光源として使われているランプは消耗品です。「ランプ時間（残率）」のランプ残率が5%以下になったときは、早めに新しいランプ（別売）と交換してください。5%以上のランプ残率でも、使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなってきた場合は早めに新しいランプと交換してください。ランプ残率（パーセント表示）は、画面表示で確認できます。（47ページ参照）

■ランプの保証期間は、6ヵ月1,000時間以内（エコ＋静音モード：ランプ残率約67%/明るさ優先モード：ランプ残率約50%）です。6ヵ月以内でも1,000時間を超えたり、1,000時間以内でも6ヵ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。

■別売のランプユニット（形名AN-100LPまたはAN-XR10LP）は、お買いあげの販売店でご購入ください。

ランプ使用上のご注意

■プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。
また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。

■「ランプ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。

⚠警告

■当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、サービスマンまたは販売店に内部の点検を依頼してください。

・当ランプが破裂したとき、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気孔から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目に入ったり口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。

⚠警告

ランプ交換時のご注意

・ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

・ランプユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも1時間以上放置し、ランプユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。

ランプ交換は、次ページで説明している操作手順に従い注意して行ってください。
*なおランプ交換は、お客様のご希望によりお近くの販売店で行うことも可能です。

* 新しいランプユニットに交換後、ランプが点灯しない場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

ランプ交換のしかた

警告

・ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプおよびその周辺が高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

お知らせ

・取っ手をつかんで、ランプユニットを取り外してください。ランプユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
・けがやランプの破損を防ぐため、手順にそって作業を行ってください。
・ランプユニットカバーとランプユニット以外のネジは絶対に外さないでください。

1 本体の⏻STANDBY/ONまたはリモコンの⏻STANDBYを押し、プロジェクターを待機状態にする

・冷却ファンが止まるまで待ちます。

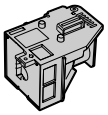
2 電源コードをプロジェクターから取り外す

・電源コードをAC電源ソケットから外します。
・**ランプユニットが十分冷えるまで（約1時間）放置します。**

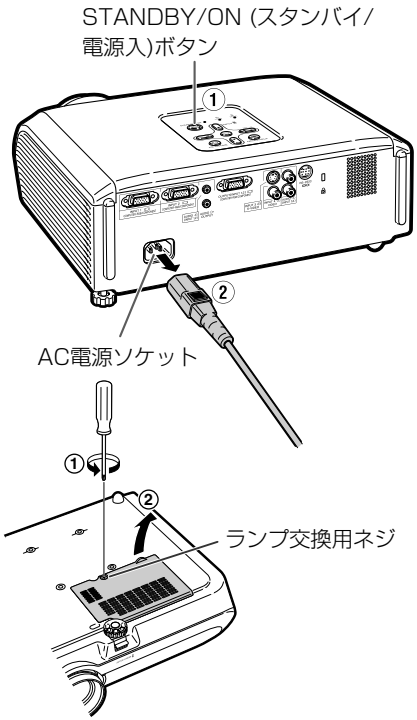
3 ランプユニットカバーを取り外す

・プロジェクターを裏返しにして、ランプユニットカバーを固定しているランプ交換用ネジをゆるめます（①）。矢印の方向にランプユニットカバーを取り外します（②）。

別売品



ランプユニット
形名
AN-100LP
または
AN-XR10LP

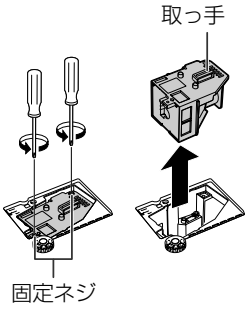


つづく

ランプを交換する(つづき)

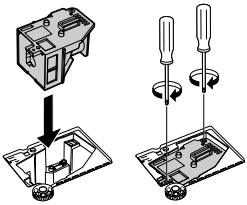
4 ランプユニットを取り外す

・固定ネジをゆるめます。取っ手をつかみ、ランプユニットを水平に保ちながら傾けないようにして矢印の方向に引き出します。



5 新しいランプユニットを挿入する

・ランプユニットをしっかりとランプユニット収納部に押し込みます。固定ネジをしめます。

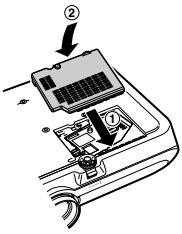


6 ランプユニットカバーを取り付ける

・ランプユニットカバーのタブを本体に合わせ(①)、つまみを押しながらランプユニットカバーを取り付けます(②)。ランプ交換用ネジを閉め、ランプユニットカバーを固定します。

お知らせ

・電源コードが接続されていてもランプユニットとランプユニットカバーが正しく取り付けられていないと、電源が入りません。

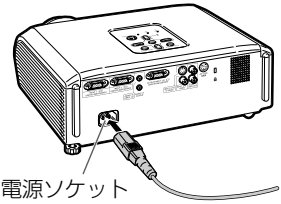


ランプ使用時間をリセットする

ランプ交換を行ったときは、ランプ使用時間をリセットしてください。

お知らせ

・ランプ使用時間のリセットは、ランプ交換時以外は行わないでください。ランプ使用時間をリセットして、規定以上ランプを使用すると破裂や故障の原因になります。



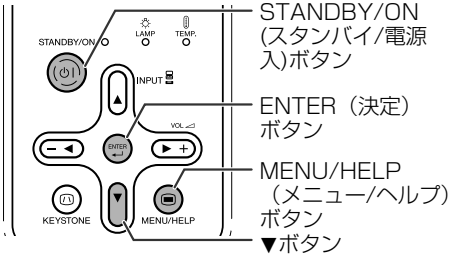
1 電源コードをプロジェクターに接続する

・電源コードをプロジェクターのAC電源ソケットに接続します。

2 ランプ使用時間をリセットする

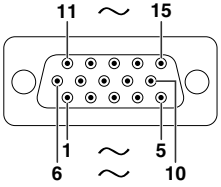
・プロジェクター本体の▤MENU・⊖ENTER・▼を同時に押しながら、⏻STANDBY/ONを押します。

・ランプ使用時間がリセットされ、「LAMP 0000H」が表示されます。



本体のコネクターのピン配置

コンピュータRGB／コンポーネント入力1,2端子とコンピュータRGB／コンポーネント出力端子:
15ピンミニD-subコネクター（メス）



コンピュータRGB入/出力

1. 映像入力（赤）
2. 映像入力（緑／シンクオングリーン）
3. 映像入力（青）
4. NC
5. NC
6. 接地（赤）
7. 接地（緑／シンクオングリーン）
8. 接地（青）
9. NC
10. 接地
11. NC
12. データ
13. 水平同期信号
14. 垂直同期信号
15. クロック

コンポーネント（色差）入/出力

1. P_R (C_R)
2. Y
3. P_B (C_B)
4. NC
5. NC
6. 接地(P_R)
7. 接地(Y)
8. 接地(P_B)
9. NC
10. NC
11. NC
12. NC
13. NC
14. NC
15. NC

RGB入力信号(推奨信号)について

コンピュータ

・幅広い信号に対応
水平周波数：15kHz～70kHz
垂直周波数：45Hz～85Hz
ドットクロック：12MHz～108MHz
同期信号：TTLレベルに対応。

・シンクオングリーン信号に対応。
・圧縮表示により次の解像度に対応。
SVGA, XGA, SXGA, SXGA+
・圧縮表示／拡大表示技術採用。

下表はVESA準拠モード一覧です。ただし本機はVESA規格以外の信号にも対応しています。

PC/MAC	解像度		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格	ディスプレイ
PC	VGA	640 × 350	27.0	60		拡大表示
			31.5	70		
			37.5	85	✔	
		640 × 400	27.0	60		
			31.5	70		
			37.9	85	✔	
		720 × 350	27.0	60		
			31.5	70		
		720 × 400	27.0	60		
			31.5	70		
			37.9	85	✔	
		640 × 480	26.2	50		
			31.5	60	✔	
			34.7	70		
			37.9	72	✔	
			37.5	75	✔	
			43.3	85	✔	
	SVGA	800 × 600	31.4	50		圧縮表示
			35.1	56	✔	
			37.9	60	✔	
			46.6	70		
			48.1	72	✔	
			46.9	75	✔	
			53.7	85	✔	
	XGA	1,024 × 768	40.3	50		
			48.4	60	✔	
			56.5	70	✔	
			60.0	75	✔	
			68.7	85	✔	
	SXGA	1,152 × 864	55.0	60		
			66.2	70		
			67.5	75	✔	
		1,280 × 1,024	64.0	60	✔	
	SXGA+	1,400 × 1,050	64.0	60		
MAC 13"	VGA	640 × 480	34.9	67		拡大表示
MAC 16"	SVGA	800 × 600	37.8	60		圧縮表示
		832 × 624	49.7	75		
MAC 19"	XGA	1,024 × 768	60.2	75		
MAC 21"	SXGA	1,152 × 870	68.7	75		

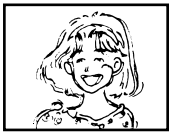
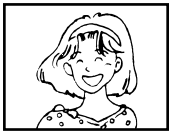
メモ

・本機は640×350VESA形式のVGA信号を入力した場合、スクリーン上では"640×400"と表示されます。

DTV

入力信号（有効走査線数）	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
525I（480I）	15.7	60
525P（480P）	31.5	60
625I（576I）	15.6	50
625P（576P）	31.3	50
750P（720P）	45.0	60
1125I（1035I）	28.1	50
1125I（1035I）	33.8	60
1125I（1080I）	28.1	50
1125I（1080I）	33.8	60

故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像も音声も出ない、またはプロジェクターが始動しない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	30
	・接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	–
	・表示させる画面の選択（入力モード）がまちがっていませんか。	32
	・プロジェクターの配線は、正しく接続されていますか。	25～29
	・リモコンの乾電池が消耗していませんか。	16
	・ノート型コンピュータを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。	27
	・ランプユニットカバーは正しく取り付けられていますか。	53～54
 音声は出るが映像が出ない（暗い）	・プロジェクターの配線は、正しく接続されていますか。	25～29
	・映像調整の「明るさ」が「－(マイナス)」側いっぱいになっていませんか。	44
	・お使いのコンピュータによっては、コンピュータの出力信号を外部出力に切り換えないと映像が表示されない場合があります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。	–
 色がうすい、色あいが悪い	・映像調整は、正しく調整されていますか。 ・「メニュー」－「映像調整」－「色あい」または「色の濃さ」を調整するか、「白伸長」を下げてください。	44
	〈ビデオ入力のとき〉 ・ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。	48
 映像がボヤける ノイズが発生する	・レンズのフォーカス（ピント）は合っていますか。	32
	・投映距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	22
	〈コンピュータ入力のとき〉	
	・同期調整(クロック調整)を行ってください。	48
	・同期調整(位相調整)を行ってください。	48
	・コンピュータによってはノイズが発生することがあります。	–
 映像は出るが音声が出ない	・プロジェクターの配線は、正しく接続されていますか。	25～29
	・音量が最小になっていませんか。 ・外部機器と接続しているとき、本機の音量が最小になっていると外部機器の音量を上げても音声がでません。	34
	・「メニュー」－「本体設定」－「スピーカー」が「切」になっていませんか。	47
キャビネットから時々「ピシッ」と音がする	・画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	–
お知らせ表示（本体ランプ）が赤点灯（点滅）する	・「お知らせ表示について」をご覧ください。	51
本体ボタンで電源を入／待機状態にできない	・キーロックが設定されていませんか。 「ON 」に設定されている場合、すべてのボタンが働きません。	31

故障かな？と思ったら(つづき)

こんなとき	ここをお調べください	ページ
入力1または2のコンポーネントモードで画面が緑がかる	・入力信号タイプが正しく設定されていますか。 ヘルプメニュー内の「色がうすい、色あいが悪い」で「入力信号タイプ」を設定してください。	48
入力1または2のRGBモードで画面がピンクがかる		
コンピュータRGB入力で映像にチラツキがある	・ヘルプメニュー内の「映像に縦縞模様やチラツキが出る」で「自動同期調整を実行する」を選び、ENTERを押します。 映像が改善されなかったときは、「水平ノイズを調整する」を選び、ENTERを押します。この後、◀または▶ボタンで調整してください。	48
映像が明るすぎて白っぽくなる	・映像調整は、正しく調整されていますか。	44
ファンの音が大きくなる	・内部温度が上昇し、冷却するためファンの回転が早くなるためです。	–
電源を入れてもランプが点灯しない	・ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯していませんか。 赤色点灯しているときは、ランプを交換してください。	50、53
使用中に突然ランプが消灯した		
映像が時々ちらつくことがある	・接続状態や接続機器に問題はありませんか。 ・ヘルプメニューの「映像に縦稿模様やチラツキが出る」で必要な調整を行ってください。 ・頻繁に起こるときは、ランプが故障している場合があります。ランプを交換してください。	25～29 48 53
電源を入れるとき、ランプが点灯するまで時間がかかる	・ランプは消耗品です。 寿命が近づくと点灯しにくくなることや映像が暗くなることがあります。ランプを交換してください。	53
映像が暗い		

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの妨害ノイズや誤った操作により、正常に動作しない事があります。
正常に動作しない時は、一度、電源プラグをコンセントから抜き、約5分以上おいてから再びコンセントに差し込んで電源を入れ直して下さい。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、
お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は …… 修理相談センター へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は …… お客様相談センター へ

修理相談センター

● **修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）**

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時
＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

ナビダイヤル®

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。

（注）PHS・IP電話からは、下記電話におかけください。

		＜東日本地区＞	＜西日本地区＞
○ PHS・IP電話でのご利用は ……	（一般電話）	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAXを送信される場合は ……	（ＦＡＸ）	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、
下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

地区別窓口一覧

担当地域	拠　点　名	電 話 番 号	郵便番号	所　在　地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7丁目3-17
東 北 地 区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関 東 地 区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東 海 地 区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水区鳥坂1170-1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北 陸 地 区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近 畿 地 区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪神サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	尼崎市猪名寺3-2-10

地区別窓口一覧(つづき)

担当地域	拠　点　名	電 話 番 号	郵便番号	所　在　地
中 国 地 区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四 国 地 区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九 州 地 区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄･奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お 客 様 相 談 セ ン タ ー

0120 - 078 - 178

○ フリーダイヤルがご利用いただけない場合は…

東日本相談室	**TEL 043 - 351 - 1821** **FAX 043 - 299 - 8280**	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	**TEL 06 - 6792 - 1582** **FAX 06 - 6792 - 5993**	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時
　　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

●FAX送信される場合は、お客様へのスムーズな対応のため、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。(06.02)

アフターサービスについて

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

- **保証期間**
  - 光源(ランプ)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から１年間は無料です。
  - 光源(ランプ)およびその修理工料は、お買いあげの日から６ヵ月は無料です。（６ヵ月以内でも使用時間が1,000時間を超えているときは、保証の対象となりません。）

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（**59**ページ）にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、プロジェクターの補修用性能部品を、製品の製造打切後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

- 「故障かな？と思ったら」（**57**ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	シアタープロジェクター
形　　名	DT-100J
お買いあげ日	（年月日）
故障の状況	（できるだけ具体的に）
ご　住　所	（付近の目印も合わせてお知らせください。）
お　名　前	
電話番号	
ご訪問希望日	

便利メモ　お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販　売　店　名
年　月　日	電話（　）　—

保証期間中
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

愛情点検

長年ご使用のプロジェクターの点検を！
こんな症状はありませんか？

●電源コードやプラグが異常に熱い。●電源を入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。●画面が映ったり、消えたりする。●映像が乱れたり、色がきれいに出ない。●その他の異常や故障がある。

このような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

仕様

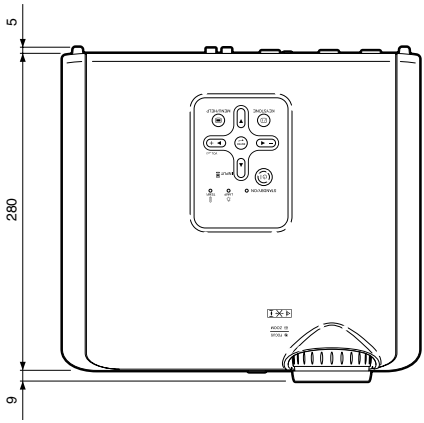
品名			プロジェクター
形名			DT-100J
表示方式			単板DMD™　カラーホイール色分離方式
パネル		パネルサイズ	0.53型DLP™方式
		画素数	409,920(横854×縦480)ドット
レンズ			1～1.15倍手動ズームレンズ F2.4～F2.6 f=19.0mm～21.9mm
ランプ			275W
音声出力			2.0W（モノラル）
スピーカー			楕円型4cm×2.85cm
定格電圧			AC100V～240V
定格周波数			50/60Hz
入力電流			3.6A
	＼	ランプ設定	
消費電力	100V	明るさ優先	350W
		エコ＋静音	305W
	240V	明るさ優先	330W
		エコ＋静音	285W
消費電力（電源スタンバイ時）			4W（AC100V）～5W（AC240V）
使用温度範囲			5℃～35℃
保管温度範囲			-20℃～+60℃
入出力端子	コンピュータRGB/コンポーネント入力端子（INPUT1/2）		RGB分離型アナログ信号／：15ピンミニD-sub端子 コンポーネント信号　（INPUT1/2） ：Y 1.0Vp-p（75Ω） ：P_B 0.7Vp-p（75Ω） ：P_R 0.7Vp-p（75Ω）
	音声入力端子（INPUT1,2/3,4）		音声：0.5Vrms、22kΩ以上： （INPUT1,2/3,4）
	S映像入力端子（INPUT3）		輝度信号入力：1.0Vp-p、75Ω、同期負：4ピンミニDINコネクター 色信号入力：0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω
	ビデオ入力端子（INPUT4）		映像：1.0Vp-p、75Ω、同期負：RCAピン端子
	RGB出力端子（OUTPUT）		RGB分離型アナログ信号／：15ピンミニD-sub端子 コンポーネント信号　（INPUT1/2用） ：Y 1.0Vp-p（75Ω） ：P_B 0.7Vp-p（75Ω） ：P_R 0.7Vp-p（75Ω）
	音声出力端子		音声：0.5Vrms、2.2kΩ以下：φ3.5ミニジャック端子
キャビネット			プラスチック
外形寸法			幅315mm、奥行280mm、高さ109mm（突起部除く）
質量			3.9kg

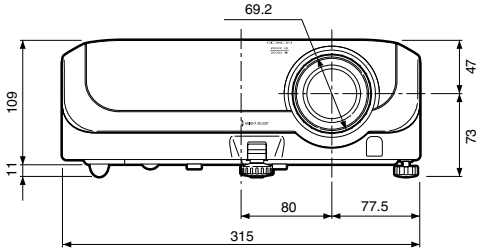
お願い

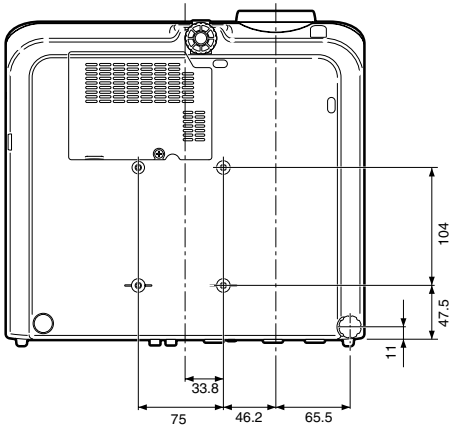
- DMD™素子は非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がいくらかある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

寸法図

単位：mm



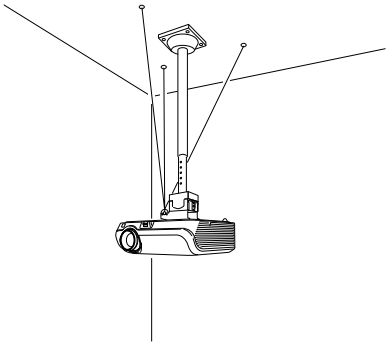




寸法図(つづき)

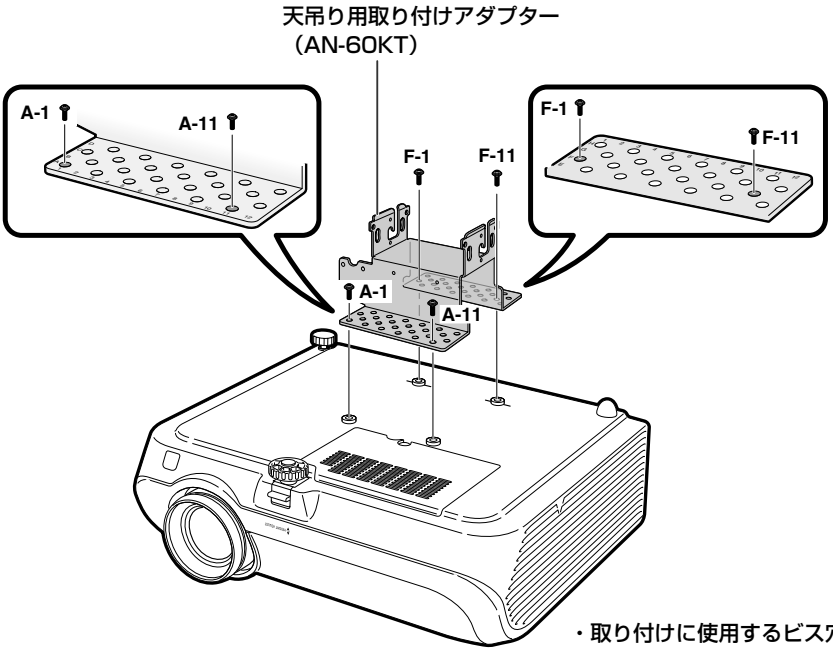
天吊り

プロジェクターを天井に設置するときは、22ページの画面下端からレンズセンターまでの距離に合わせて設置位置を決めてください。



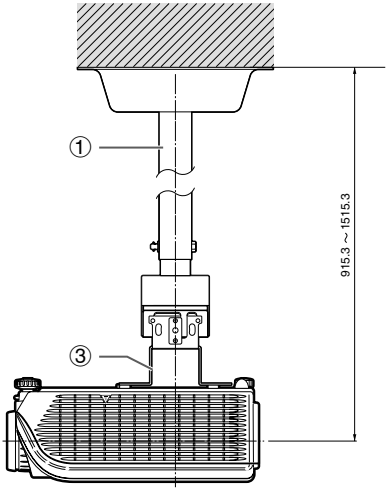
AN-TK201をご使用の際は、上図のようにワイヤー等でゆれ防止されることをおすすめします。

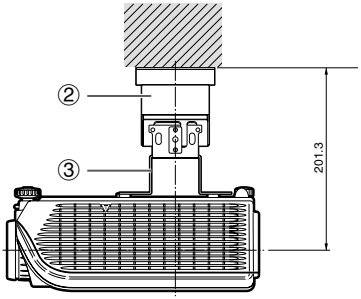
天吊り用取り付けアダプター（別売品）の取り付けかた

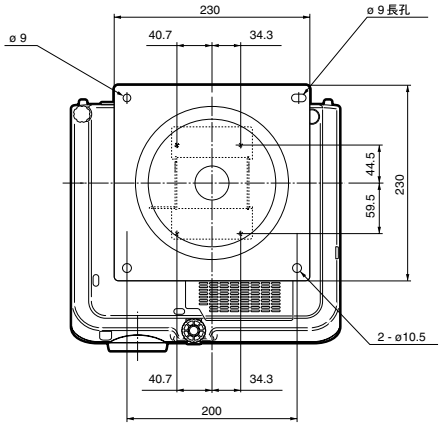


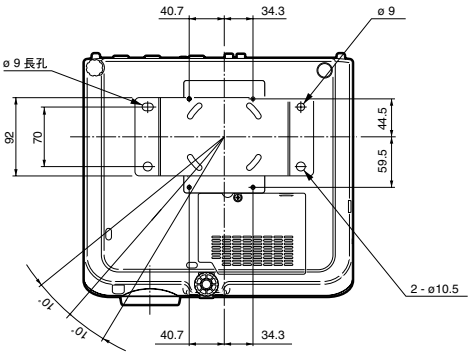
・取り付けに使用するビス穴はA-1、A-11、F-1、F-11です。
・天吊り用取り付けアダプターに付属のビス(M4)を使用してください。

	品名	型名
①	高天井用取り付けユニット	AN-TK201
②	低天井用取り付けユニット	AN-TK202
③	天吊り用取り付けアダプター	AN-60KT









索引

記号英数

AC 電源ソケット 30
AUDIO INPUT（音声入力）端子 .. 25、26、27
AUDIO OUTPUT（音声出力）端子 29
AUTO SYNC（自動同期調整）ボタン 38
AV MUTE（AV ミュート）ボタン 34
ENTER（決定）ボタン 41
FREEZE（静止画）ボタン 38
INPUT（入力）1 端子 ..... 25、27
INPUT（入力）2 端子 ..... 25、27
INPUT（入力）3 端子 26
INPUT（入力）4 端子 26
INPUT（入力切換）ボタン 32
KEYSTONE(キーストーン補正)ボタン 35
MENU/HELP（メニュー / ヘルプ）ボタン ..... 41、48
ON（電源入）ボタン 30
OUTPUT (INPUT1,2)端子 28
PICTURE MODE（映像モード）ボタン 38
RESIZE（画像サイズ切換）ボタン 36
RETURN（戻す）ボタン 41
RGB ケーブル 27
STANDBY（スタンバイ）ボタン 31
STANDBY/ON (スタンバイ / 電源入)ボタン . 30
VOLUME（音量）ボタン 34

ア行

青 44
赤 44
明るさ 44
アジャスター 33
色あい 44
色温度 44
色の濃さ 44
映像信号方式 40
映像調整メニュー 43
映像モード ..... 38、43
温度モニター表示 50
温度モニター機能 50

カ行

カーソルボタン 41
確認音 47
画面サイズ（RESIZE） ..... 36、45
画面サイズと投映距離 22
画面表示 45
乾電池 16
キーロック 31
吸気孔 ..... 13、14、49
クロック 48
言語選択（画面表示言語） 45
後部アジャスター 33
コントラスト 44

サ行

自動同期調整（AUTO SYNC） .... 38、40、46、48
自動入力サーチ 46
シャープネス 44
台形補正 45
高さ調整レバー 33
電源コード 30
投映方式 ..... 21、45
盗難防止用コネクター 14
白伸長 44
ズーム（表示イメージ） ..... 36、37
ズームリング 32
垂直位置 ..... 40、48
水平ノイズ調整 ..... 40、48
水平位置 ..... 40、48
垂直ノイズ調整 ..... 40、48
スクイーズ（表示イメージ） ..... 36、37
スピーカー 47

タ行

ナ行

入力 1 ～ 4 モード 32

ハ行

排気孔 ..... 14、49
バックグラウンド 45
表示設定メニュー 45
標準（表示イメージ） ..... 36、37
ファンモード 47
フォーカスリング 32
付属品 5
プログレッシブ 44
別売品 5
ヘルプメニュー 48
本体設定メニュー 46

マ行

無信号電源オフ 47

ラ行

ランプ ..... 5、52
ランプ交換 53
ランプ表示 50
ランプ時間（残率） 47
ランプ設定 44
リモコン 15
リモコン受信部 17
レンズキャップ 13

メモ

● 製品についてのお問い合わせは‥

お客様相談センター	フリーダイヤルがご利用いただけない場合は		
0120-078-178	東日本相談室	TEL 043-351-1821	FAX 043-299-8280
	西日本相談室	TEL 06-6792-1582	FAX 06-6792-5993

《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時　　日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は‥ **59**ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ **http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

中国印刷
TINS-C423WJZZ
06P03-CH-NG